



令和元年 9 月 2 日
九州地方整備局

令和元年 8 月豪雨における出水について（第 2 報）

【六角川水系、松浦川水系、筑後川水系、矢部川水系、山国川水系】

○令和元年 8 月豪雨による九州内の 1 級水系の雨量水位情報を取りまとめましたので、速報版として公表します。

○第 2 報として、緊急復旧状況、治水事業の効果を追加しました。

【詳細版】（第 1 報）から今回追加した情報は以下のとおりです。

『7. 嘉瀬川における緊急復旧状況』『8. 治水事業の効果』

※その他水位の概要の語句等を修正しております。

【問い合わせ先】国土交通省 九州地方整備局 河川部

河川計画課長 こばやし ゆう 小林 侑 （内線：3611）

建設専門官 たかしま つねよし 高島 恒善 （内線：3616）

電話：092-471-6331（代表）

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

令和元年8月豪雨における出水の概要と対応(第2報)

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

1. 出水状況

六角川、松浦川、筑後川、矢部川、山国川の 5 水系で氾濫危険水位を超過。

○ 氾濫危険水位超過 9 河川 9 地点

- 六角川水系 : 六角川(潮見橋)
 牛津川(妙見橋)
- 松浦川水系 : 徳須恵川(徳須恵橋)
 巖木川(中島橋)
 松浦川(川西橋)
- 筑後川水系 : 城原川(日出来橋)
 巨瀬川(中央橋)
- 矢部川水系 : 矢部川(船小屋)
- 山国川水系 : 山国川(柿坂)

2. ホットラインの実施

5 水系に関して 19 市町にホットラインを実施。

六角川水系 6 市町、松浦川水系 2 市、筑後川水系 4 市、矢部川水系 5 市
町、山国川水系 2 市町

【ホットライン】河川事務所長から市町村長に対して河川の情報を直接提供する仕組み

3. 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

4 水系で計 9 回の洪水情報のプッシュ型配信を実施。

- 六角川水系 : 牛津川(妙見橋)
 六角川(潮見橋)
- 松浦川水系 : 松浦川(川西橋)
 徳須恵川(徳須恵橋)
 巖木川(中島橋)
- 矢部川水系 : 矢部川(船小屋)
- 山国川水系 : 山国川(柿坂)

【洪水情報】指定河川洪水予報の氾濫危険情報(警戒レベル4相当)及び氾濫発生情報(警戒レベル5相当)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報【プッシュ型配信】受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組み

4. 主な施設被害

- ・嘉瀬川水系嘉瀬川 右岸 10k300 付近 堤防天端亀裂、法面崩壊
(29日17時応急復旧完了)
- ・矢部川水系矢部川 左岸 10k600 堤防天端亀裂
(28日16時応急復旧完了)

5. 主な一般被害

※調査中の速報値として確認できているもののみを掲載しています。

○福岡県

八女市	117件 (一部損壊1、床上54、床下62)
筑後市	97件 (床上20、床下77)
柳川市	5件 (床下5)
久留米市	133件 (床上40、床下93)
大川市	53件 (床下53)
うきは市	15件 (床上4、床下11)
みやま市	1件 (床下1)
大木町	43件 (床下43)
東峰村	3件 (床下3)
広川町	39件 (床上12、床下27)

○大分県

日田市	3件 (床下2、一部損壊1)
-----	----------------

○佐賀県

武雄市	851件 (床上522、床下329)
大町町	201件 (床上58、床下143)
神崎市	1件 (床下1)
鳥栖市	1件 (床上1)
伊万里市	10件 (床上1、床下9)
吉野ヶ里町	1件 (床上1)
有田町	1件 (床上1)
江北町	158件 (床上9、床下149)
白石町	93件 (床上3、床下90)
多久市	104件 (床上55、床下49)

唐津市	11 件（床上 3、床下 8）
嬉野市	4 件（床下 4）
上峰町	1 件（床上 1）

○長崎県

佐世保市	34 件（床上 9、床下 25）
平戸市	19 件（床上 8、床下 11）
対馬市	33 件（床上 4、床下 29）
佐々町	1 件（床下 1）
松浦市	2 件（一部損壊 2）

- ※ 出典 福岡県資料「8月27日からの大雨に関する情報(第16報)」(8/30 19:30)より
- ※ 出典 大分県資料「令和元年8月27日大雨警報に関する災害情報について(最終報)」(8/30 12:00)より
- ※ 出典 佐賀県資料「8月27日からの大雨による被害状況等」(9/1 7:30)より
- ※ 出典 長崎県資料「令和元年8月27日からの大雨による被害について」(8/30 10:20)より

令和元年 8 月豪雨における出水について

(第 2 報)

【六角川水系、松浦川水系、筑後川水系、矢部川水系、山国川水系】

九州地方整備局

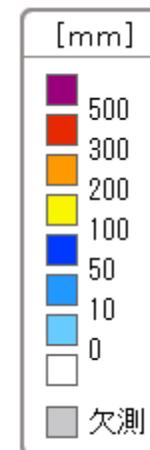
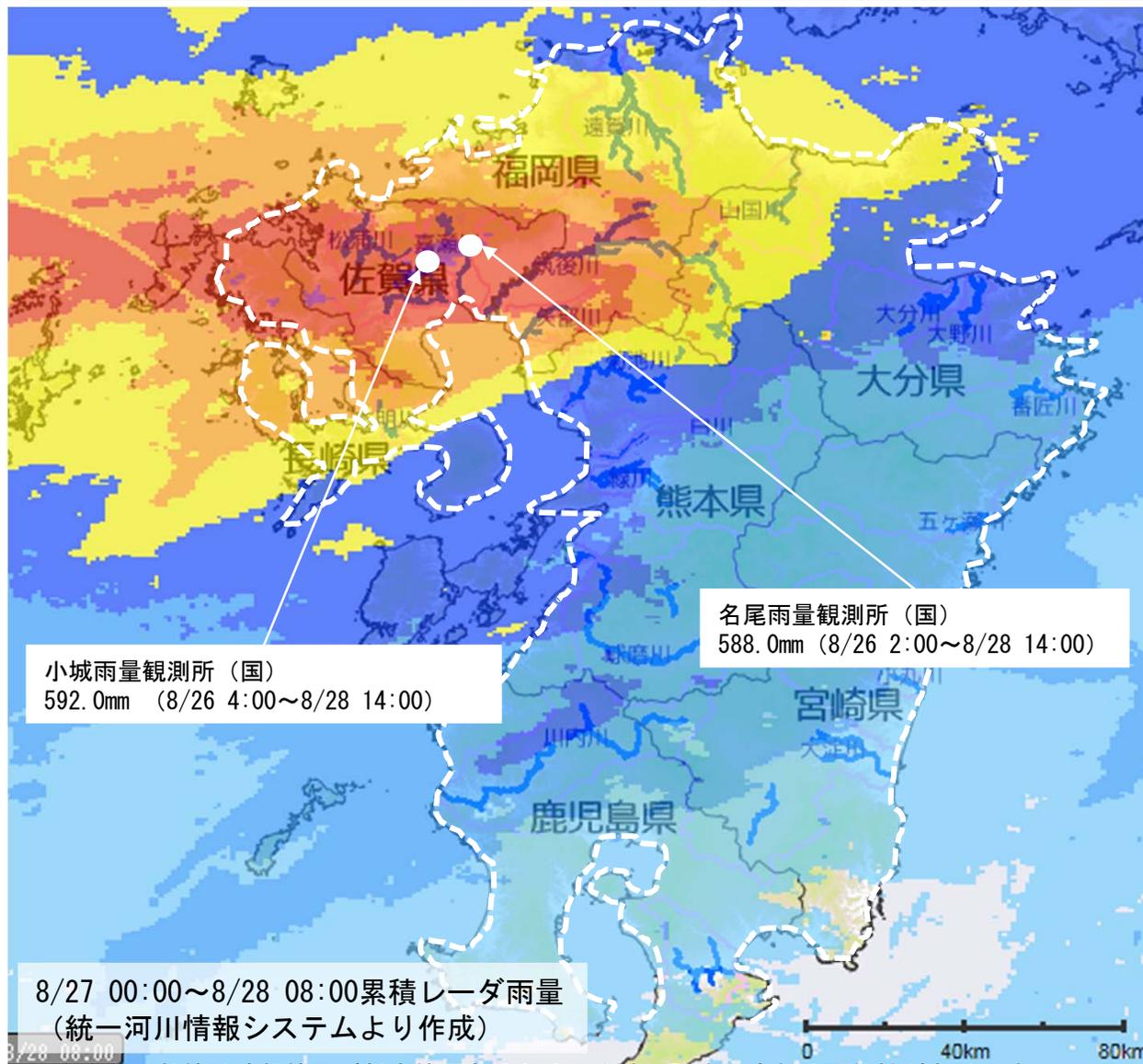
令和元年9月2日

目 次

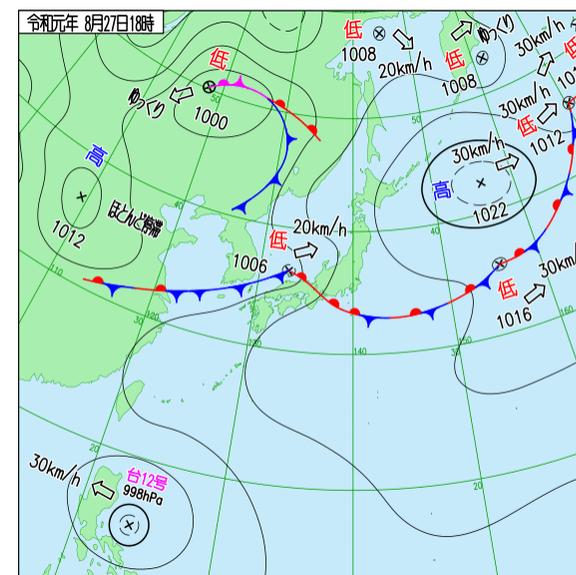
1. 気象・降雨の概要	1
2. 九州地方整備局管内の直轄管理河川の状況	2
3. 降雨の概要	3
4. 水位の概要	6
5. 出水状況写真	24
6. ホットライン実施状況	26
7. 嘉瀬川における緊急復旧状況	27
8. 治水事業の効果	28

1. 気象・降雨の概要

○8月27日（火）から、秋雨前線の活発な活動により九州の広範囲に強い雨域がかかり、**長崎県、佐賀県、福岡県**を中心に大雨となりました。



天気図（8月27日18時頃、気象庁HPより）



2. 九州地方整備局管内の直轄管理河川の状況

○広範囲にわたる大雨の結果、九州内20の一級水系のうち、5水系で氾濫危険水位を超過。

1. 河川出水状況（直轄河川）

○レベル5（氾濫の発生）＜3河川＞

- ・六角川（牛津川）、松浦川（松浦川）、筑後川（巨瀬川）

○レベル4（氾濫危険水位超過）＜6河川＞

- ・六角川（六角川）、山国川（山国川）、筑後川（城原川）、矢部川（矢部川）、松浦川（徳須恵川、厳木川）

※現在水位は水防団待機水位以下まで下降

2. 直轄ダム洪水調節状況（直轄河川）

○直轄3ダムで洪水調節を実施

- 厳木ダム（松浦川水系）、下釜ダム（筑後川水系）、耶馬溪ダム（山国川水系）

3. 避難指示等の状況（直轄河川沿川）

○福岡県8市、2町で避難指示及び避難勧告

- 朝倉市、久留米市、八女市、うきは市、柳川市、小郡市、みやま市、筑後市、大刀洗町、上毛町

○佐賀県7市、3町で避難指示及び避難勧告

- 佐賀市、多久市、武雄市、唐津市、伊万里市、小城市、神埼市、江北町、みやき町、白石町

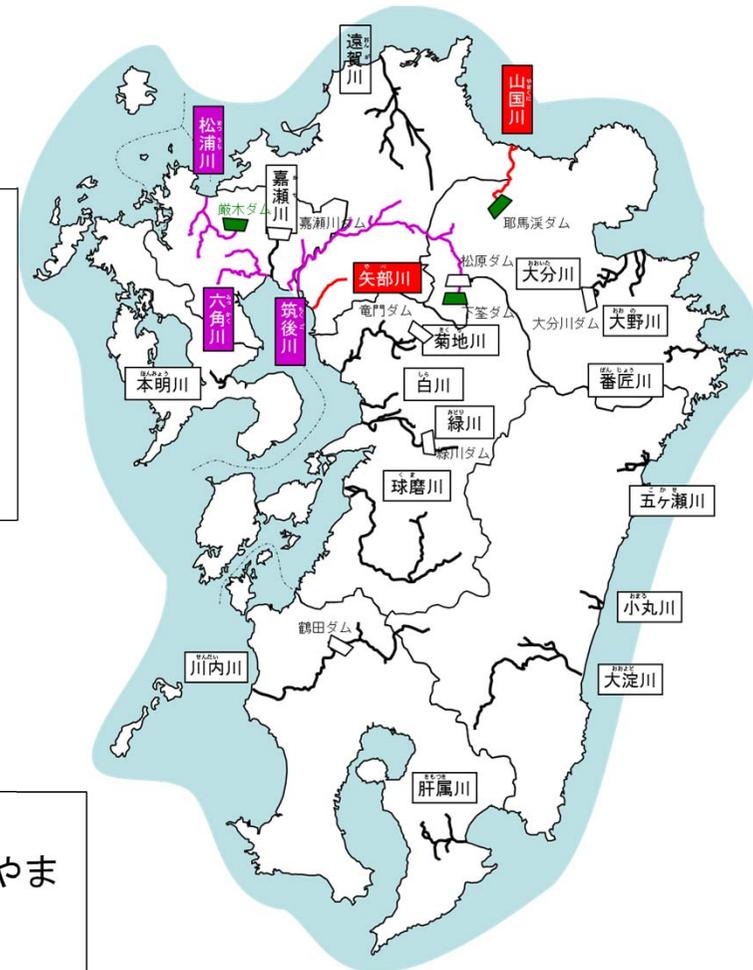
○大分県1市で避難指示及び避難勧告

- 中津市

○熊本県1町で避難指示及び避難勧告

- 和水町

（避難指示及び避難勧告が発令された市町村を8月30日9時00分時点で集計）



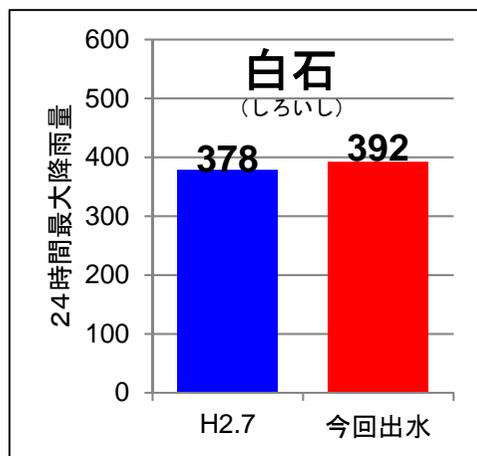
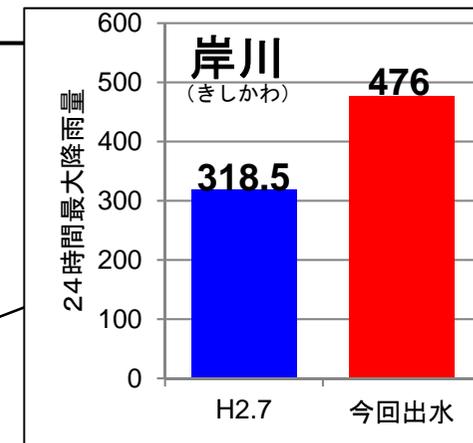
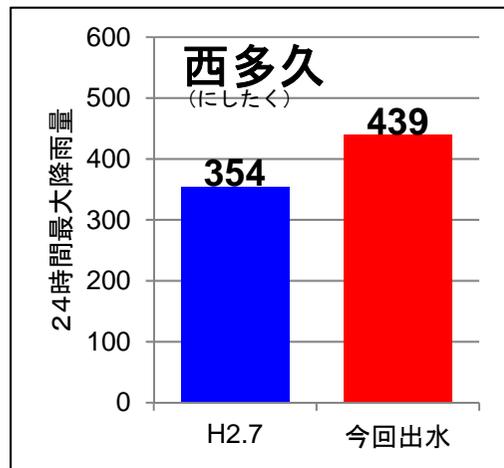
凡例	
—	レベル5（氾濫の発生）
—	レベル4（氾濫危険水位超過）
■	防災操作実施ダム（直轄）

※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

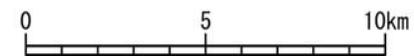
3. 降雨の概要（六角川流域の雨量）

六角川流域では、岸川(きしかわ)、西多久(にしたく)、白石(しろいし)雨量観測所において、近年の主な出水(H2)を超える雨量を観測しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



△ 氾濫危険水位を超過した観測所

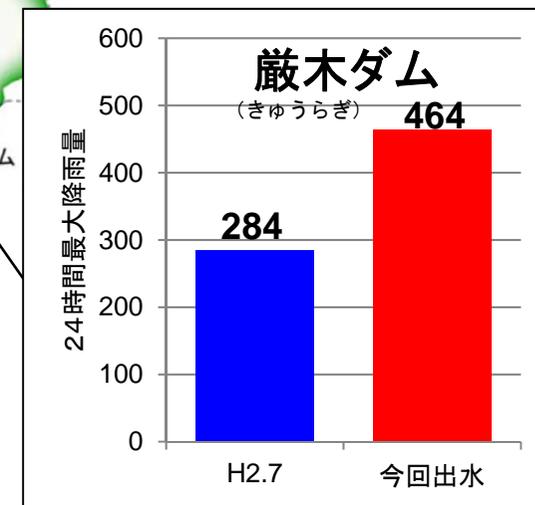
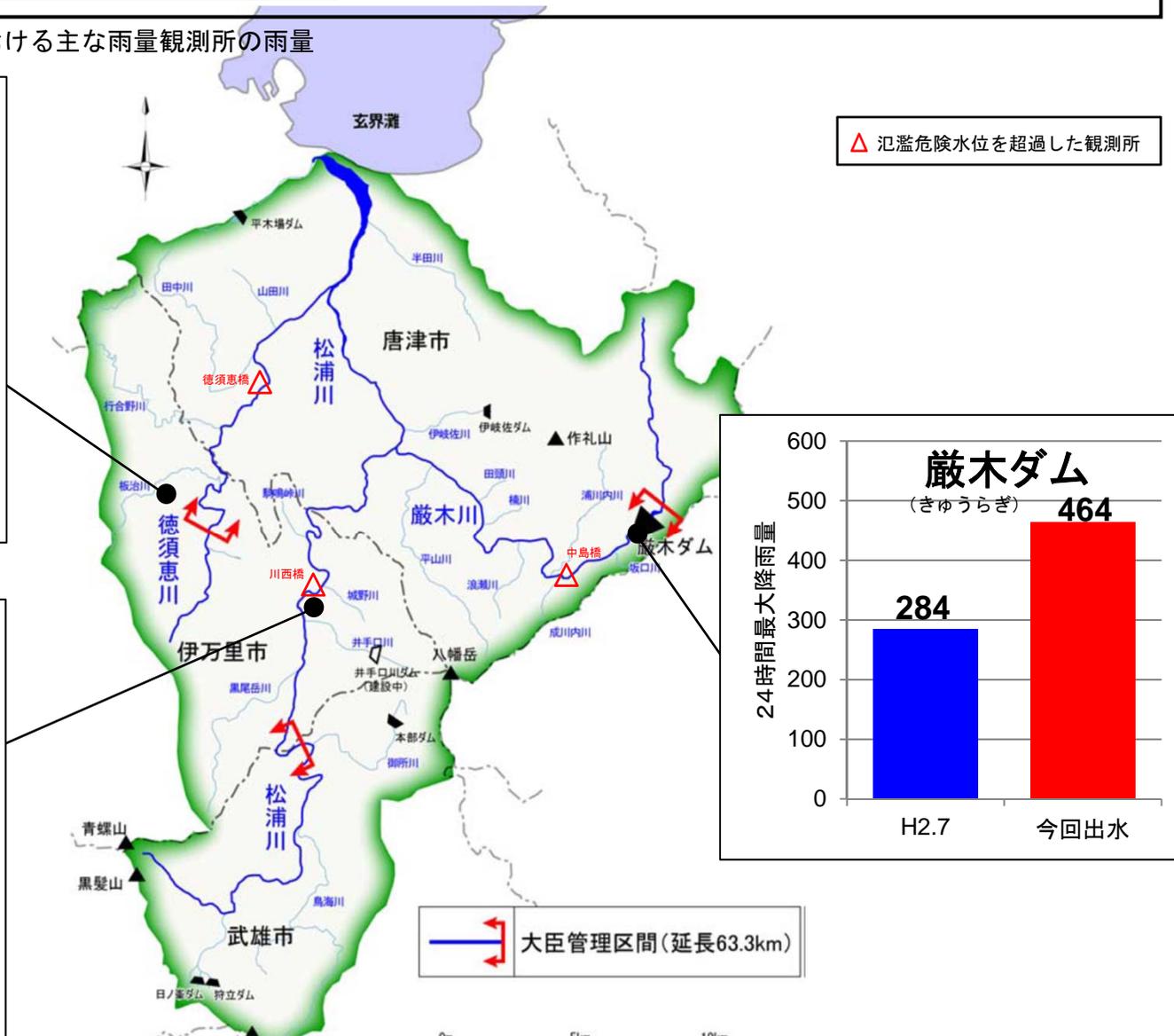
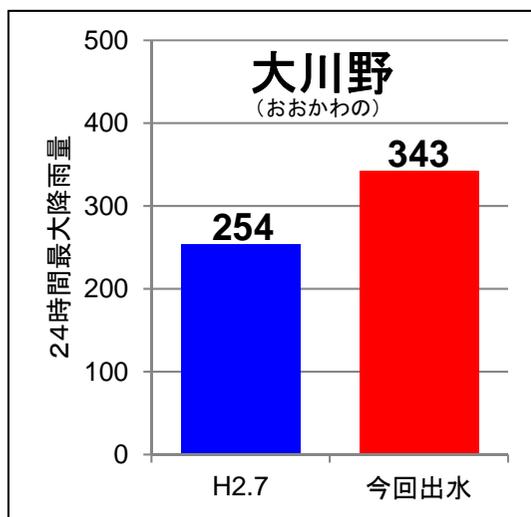
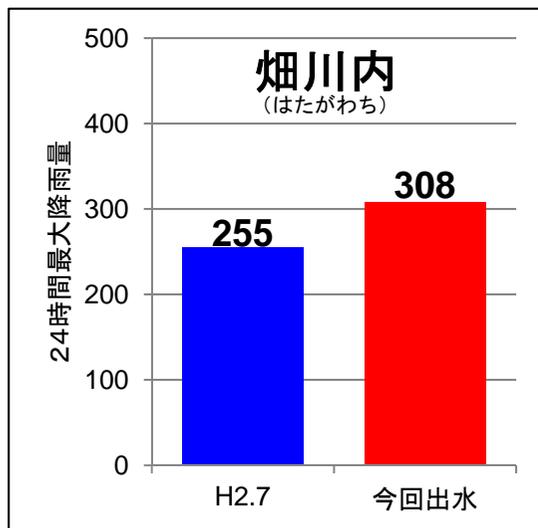


本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。3

3. 降雨の概要（松浦川流域の雨量）

松浦川流域では、畑川内（はたがわち）、厳木ダム（きゅうらぎだむ）、大川野（おおかわの）雨量観測所において近年の主な出水時（H2）を超える雨量を観測しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量

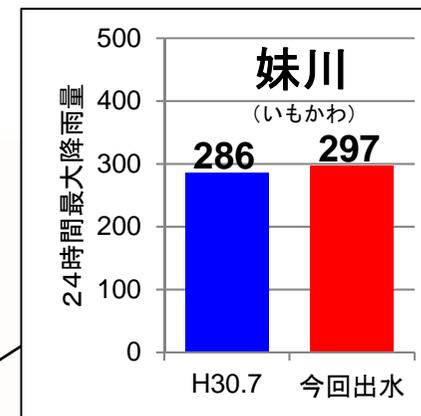
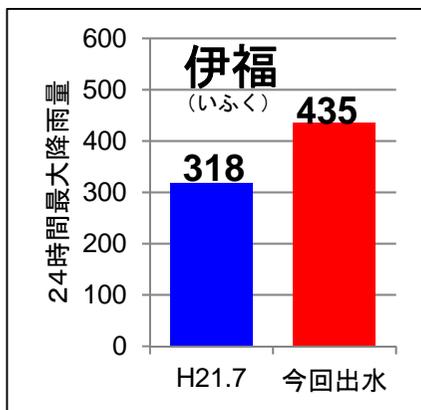


本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 降雨の概要（筑後川流域の雨量）

筑後川流域では、伊福(いふく)、妹川(いもかわ)雨量観測所において、近年の主な出水（H21、H30）を超える雨量を観測しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



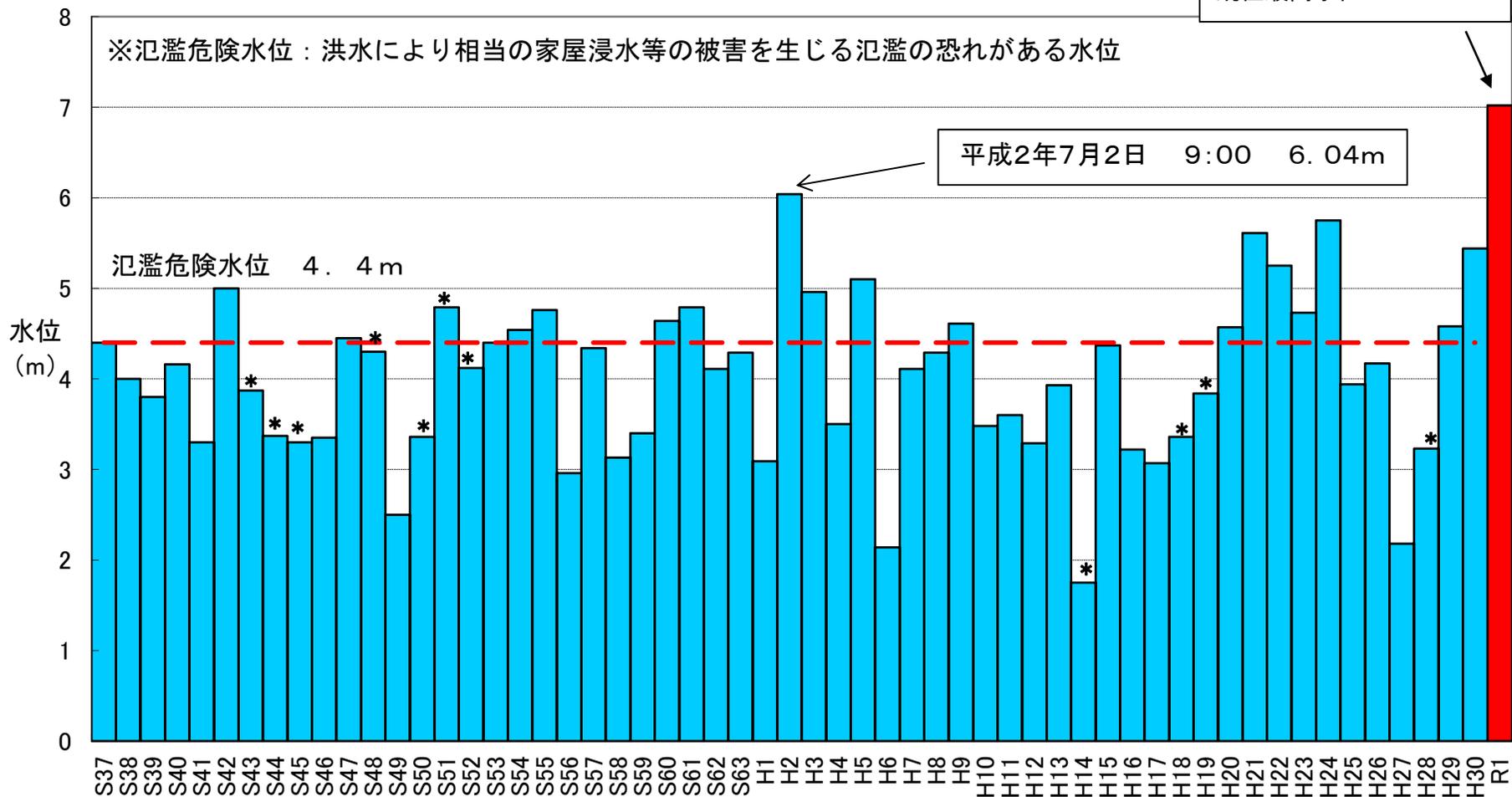
本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の概要①-1 (六角川水系牛津川)

六角川水系牛津川妙見橋水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、8月28日5時40分に既往最高のピーク水位7.02mを記録しました。

牛津川(妙見橋水位観測所)の年最高水位比較図

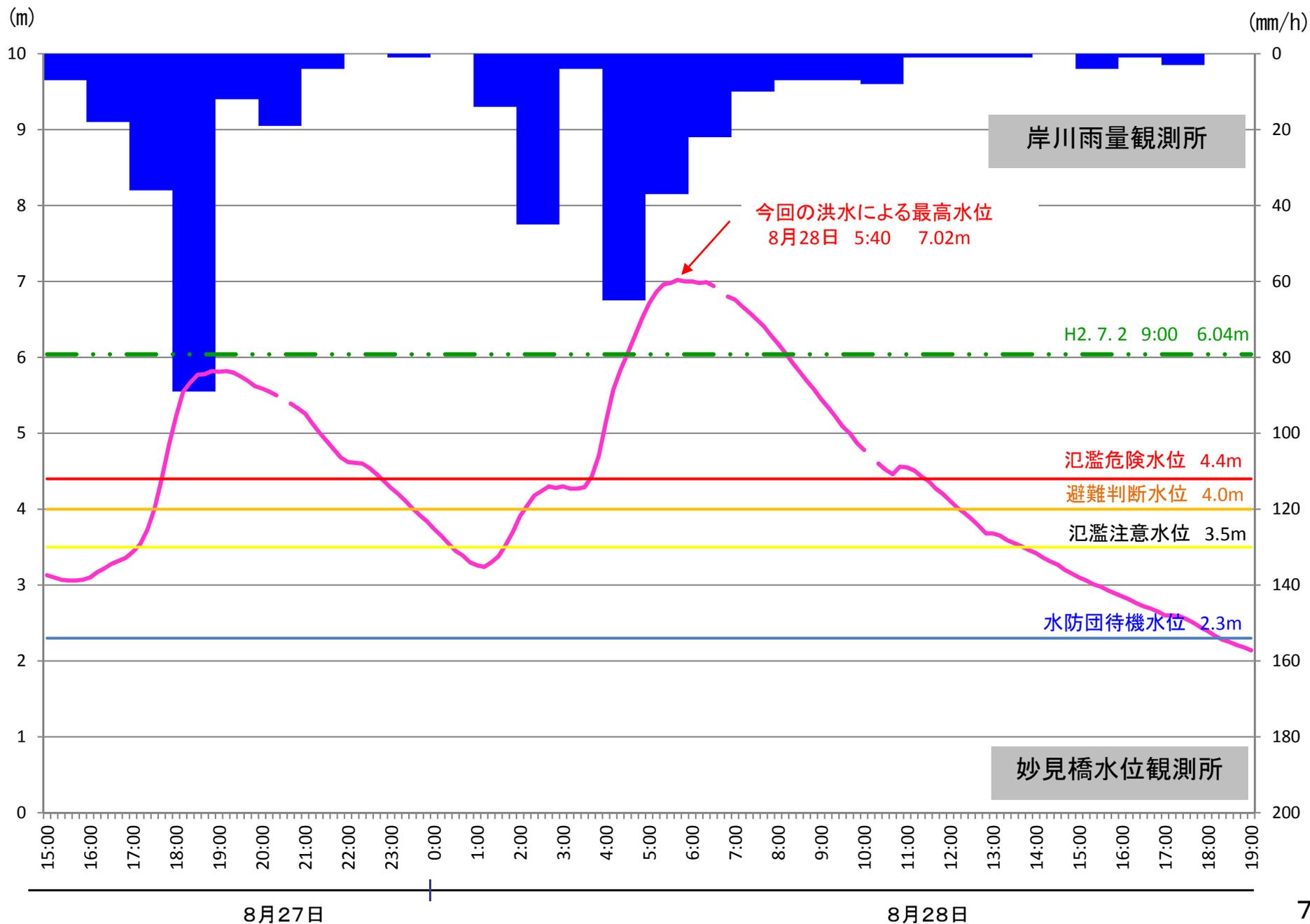
8月28日 5:40
既往最高水位 7.02m



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

4. 水位の概要①-2(六角川水系牛津川)

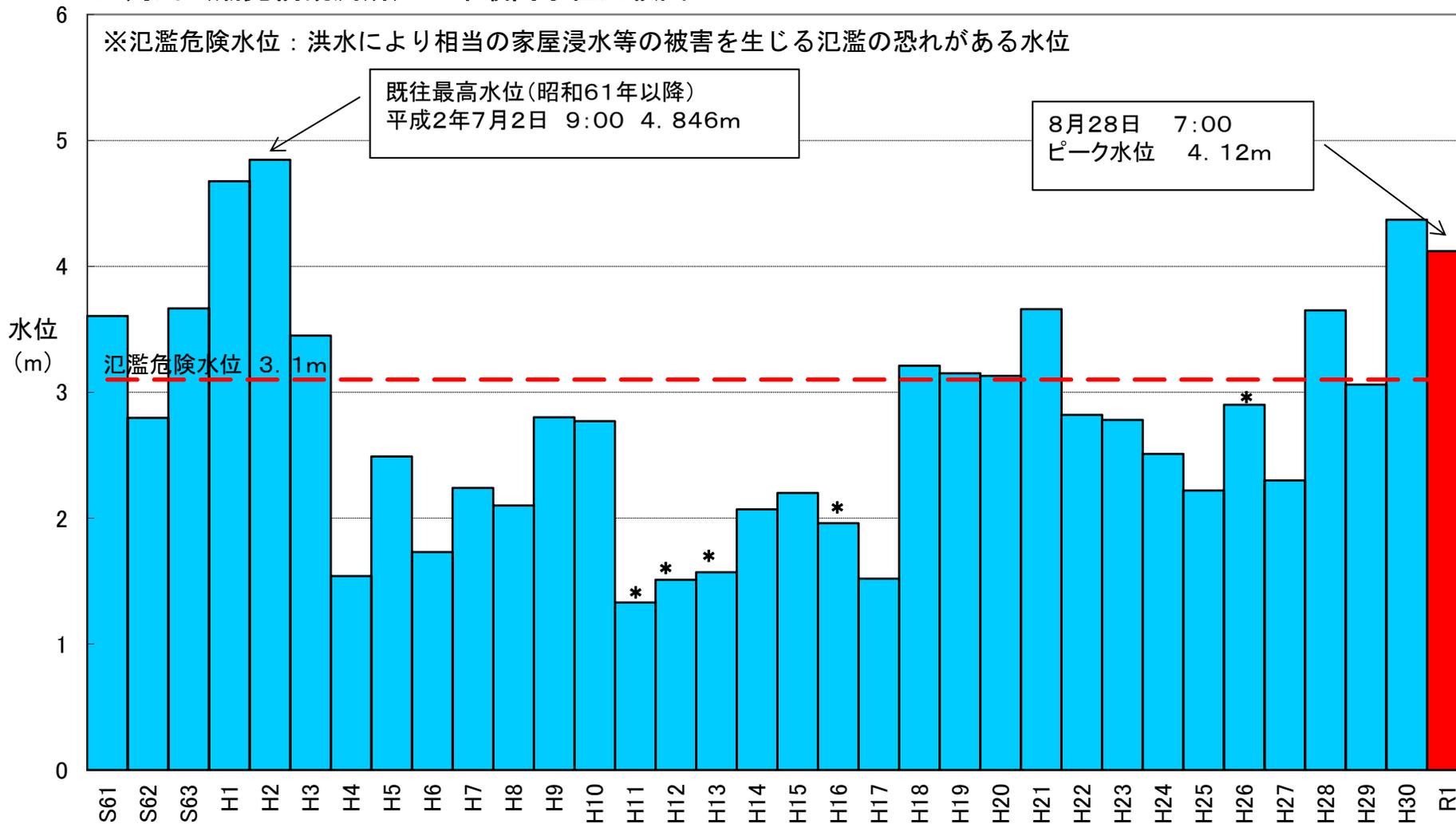


4. 水位の概要②-1 (六角川水系六角川)

(R1.9.6 データを修正しました)

六角川水系六角川の潮見橋水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、8月28日7時00分にピーク水位4.12mを記録しました。

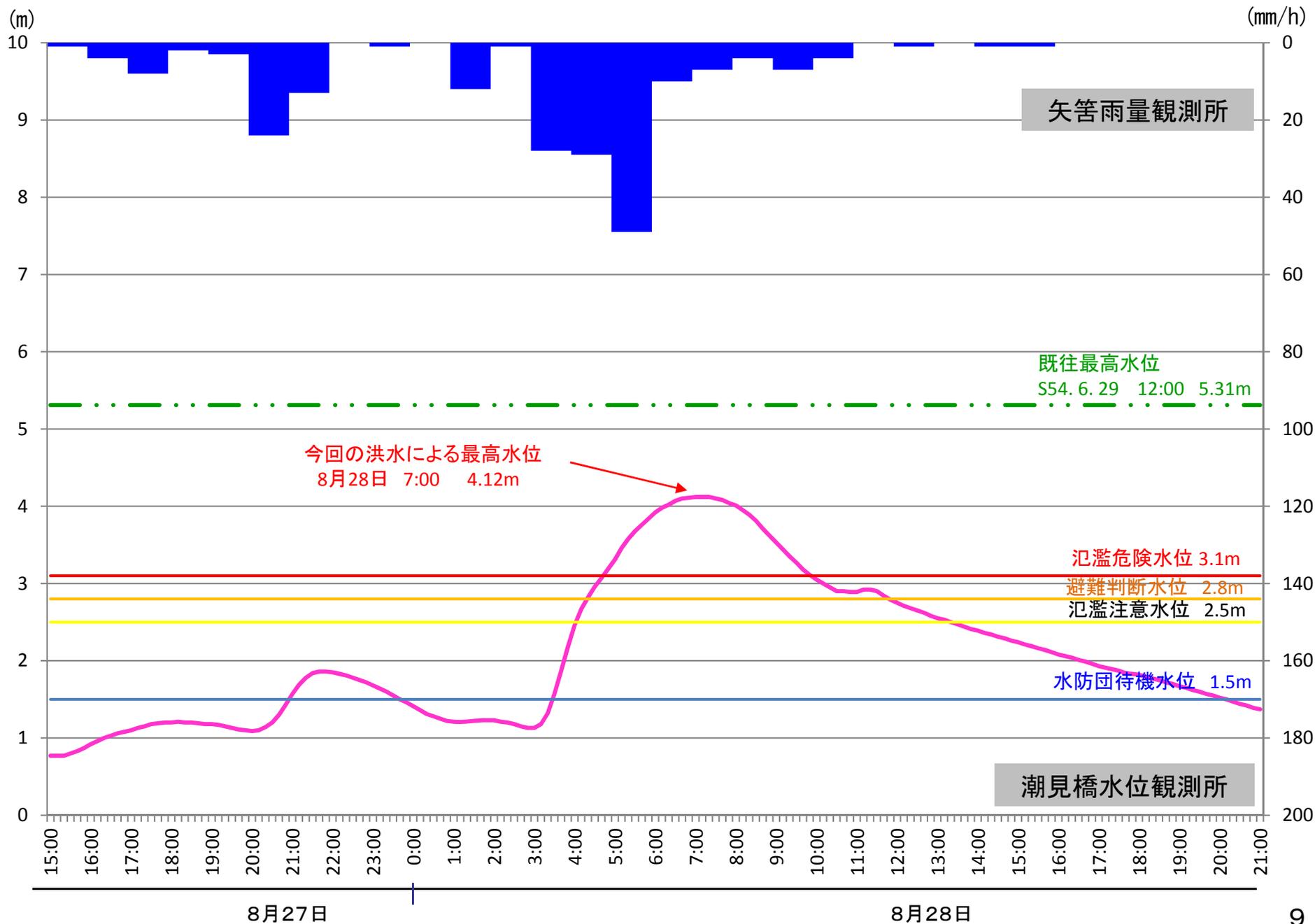
六角川（潮見橋観測所）の年最高水位比較図



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

*：水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

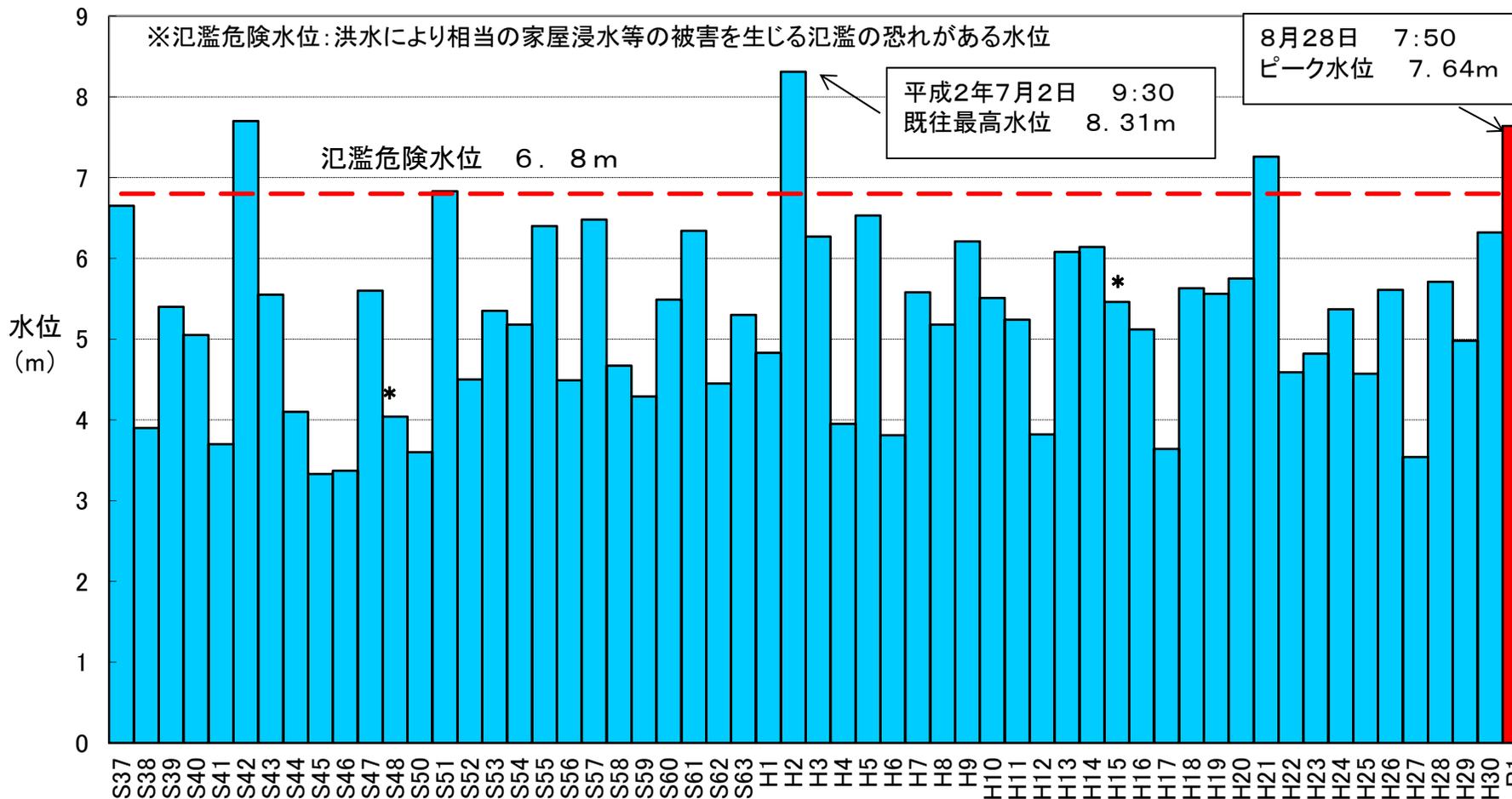
4. 水位の概要②-2(六角川水系六角川)



4. 水位の概要③-1 (松浦川水系松浦川)

松浦川水系松浦川の川西橋水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、8月28日7時50分にピーク水位7.64mを記録しました。

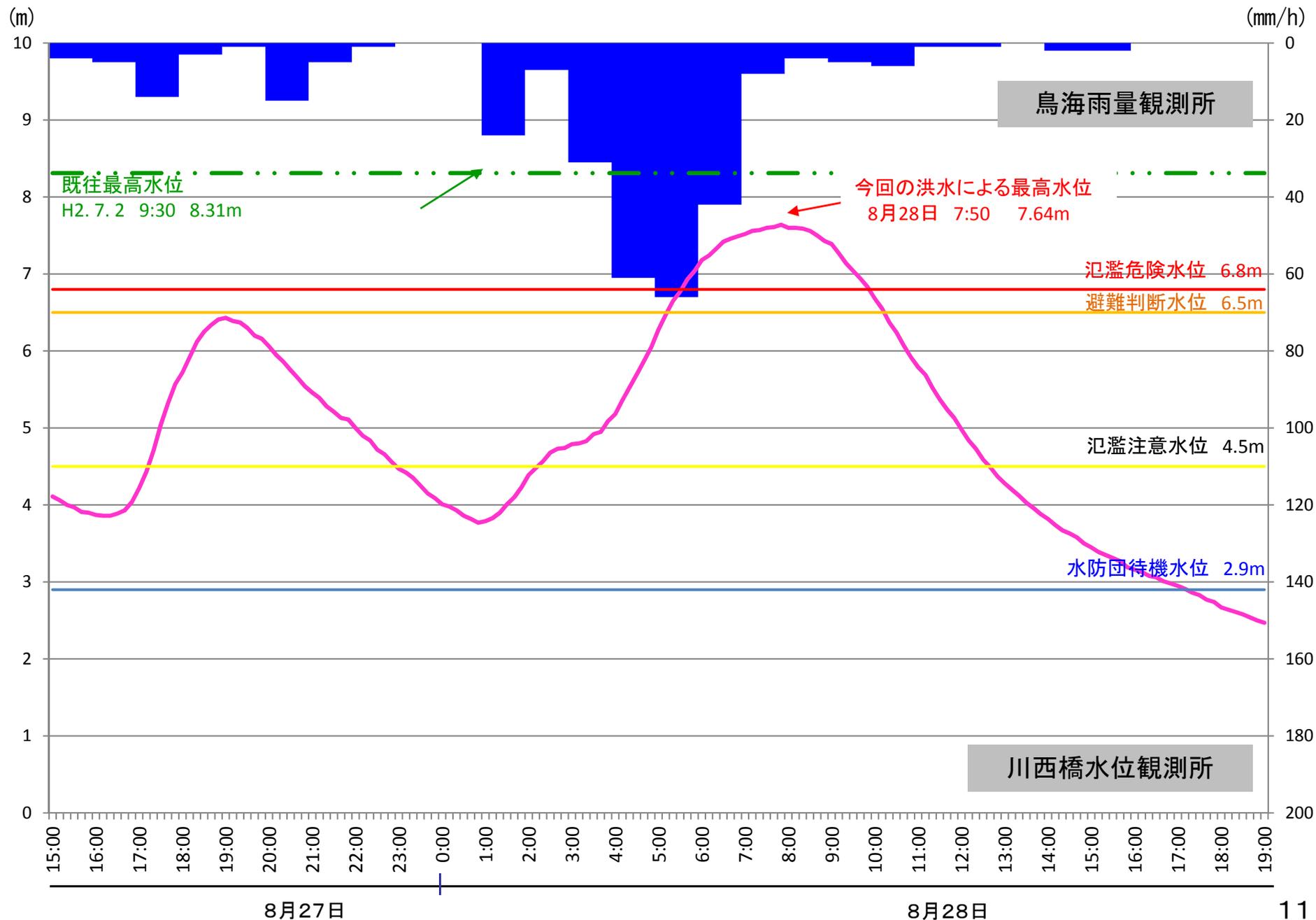
松浦川(川西橋水位観測所)の年最高水位比較図



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

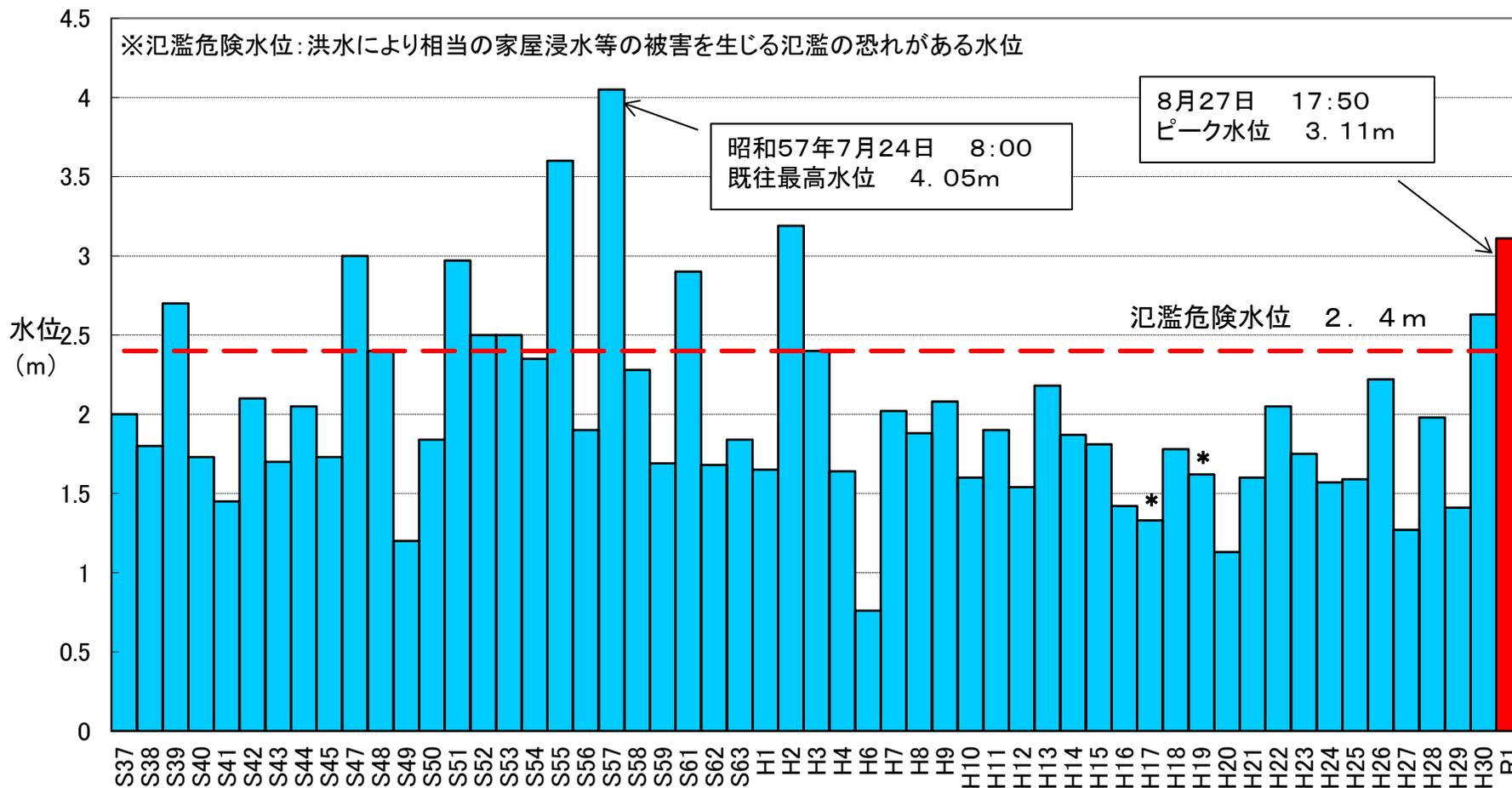
4. 水位の概要③-2(松浦川水系松浦川)



4. 水位の概要④-1 (松浦川水系巖木川)

松浦川水系巖木川の中島橋水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、8月27日17時50分にピーク水位3.11mを記録しました。

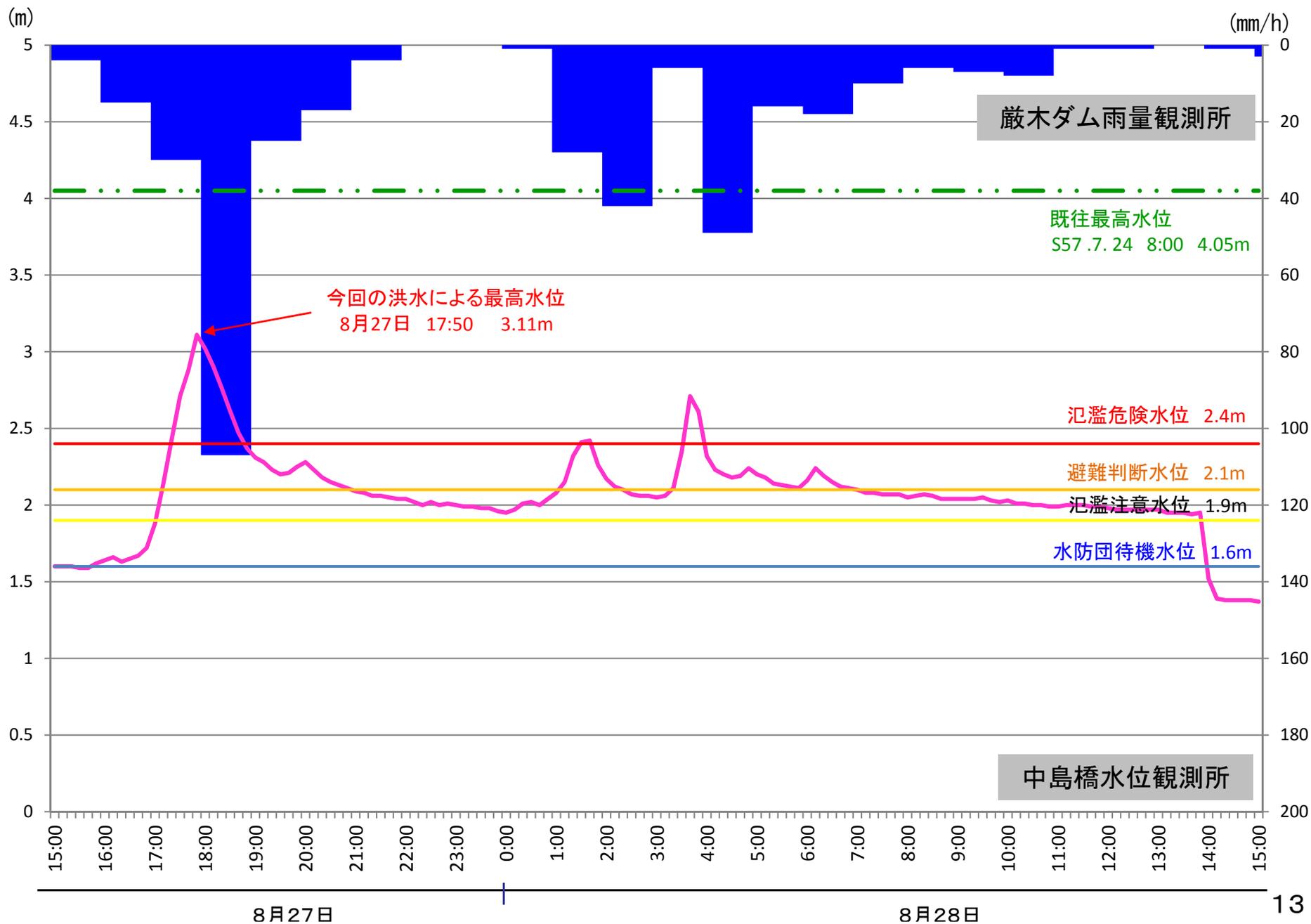
巖木川(中島橋水位観測所)の年最高水位比較図



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

*：水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

4. 水位の概要④-2(松浦川水系巖木川)

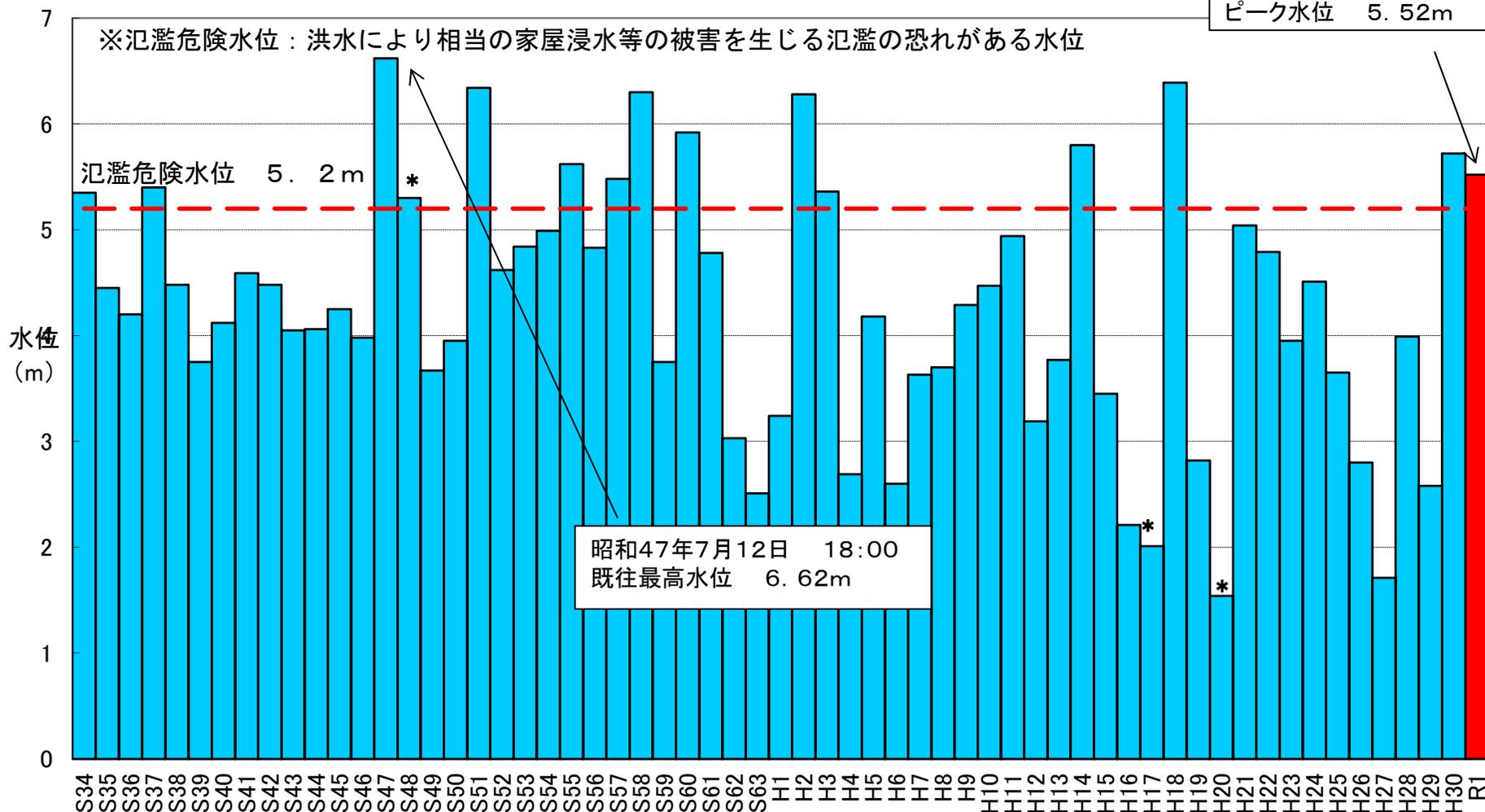


4. 水位の概要⑤-1 (松浦川水系徳須恵川)

松浦川水系徳須恵川の徳須恵橋水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、8月27日18時20分にピーク水位5.52mを記録しました。

松浦川(徳須恵橋水位観測所)の年最高水位比較図

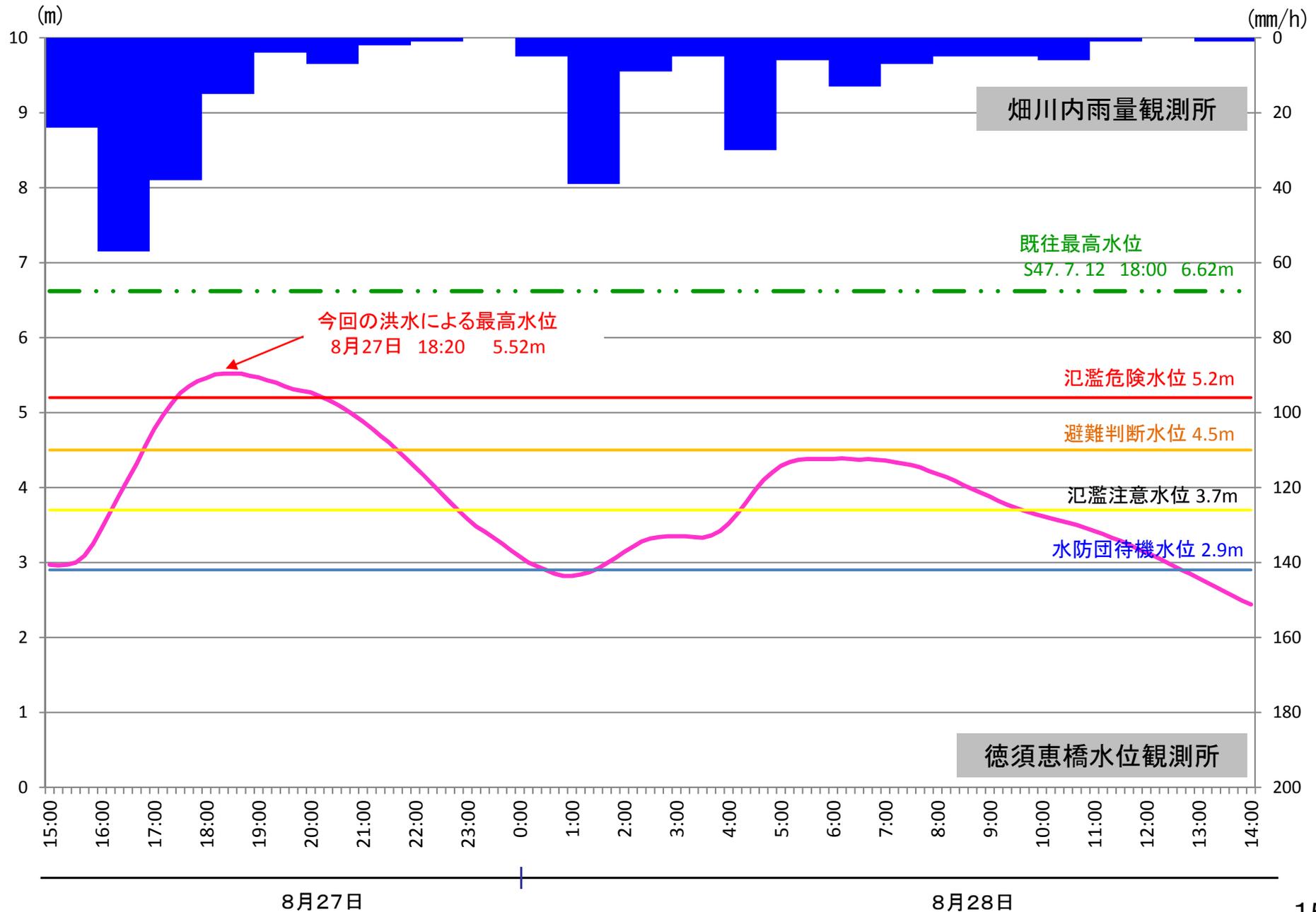
8月27日 18:20
ピーク水位 5.52m



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

*：水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

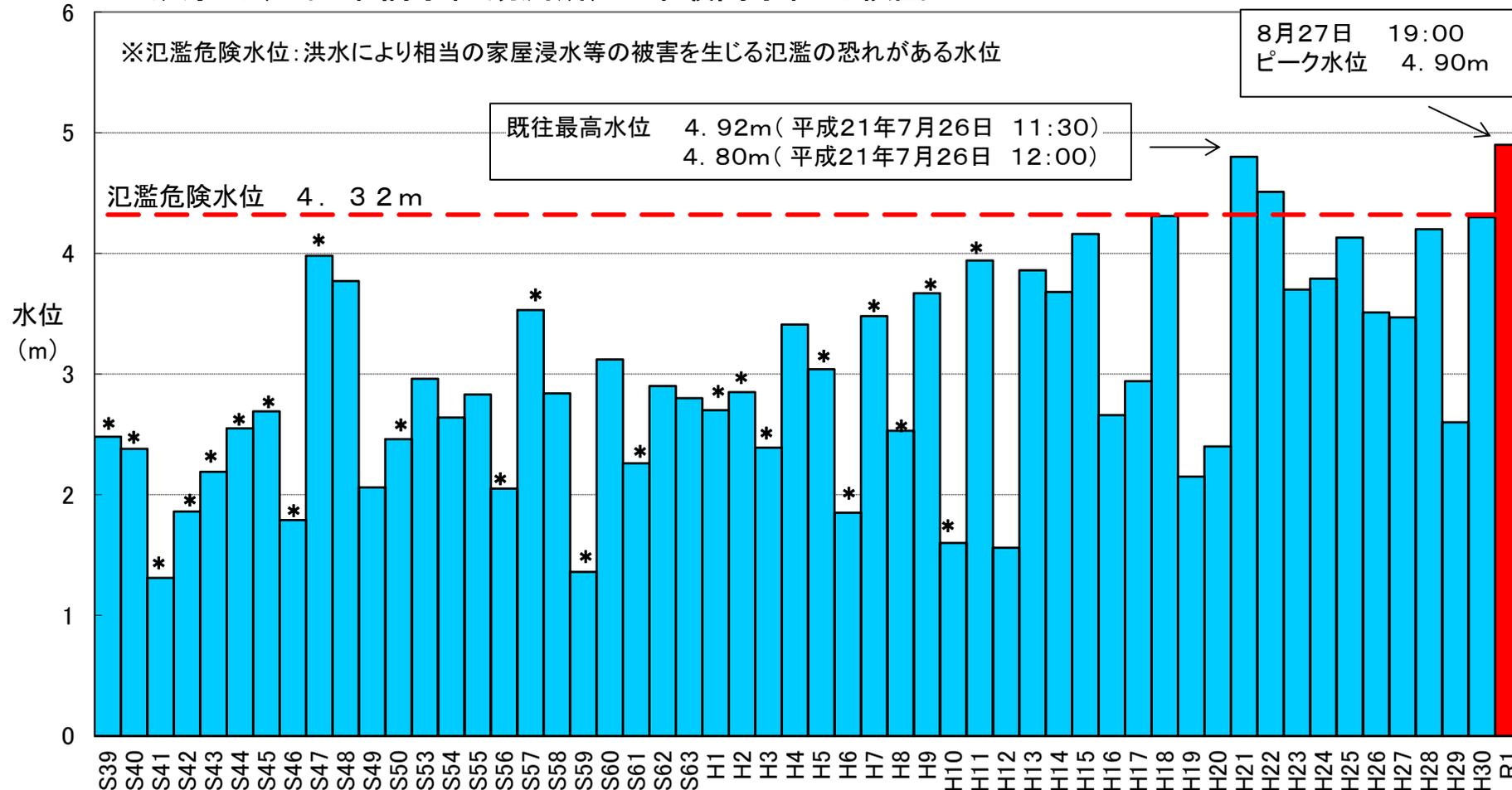
4. 水位の概要⑤-2(松浦川水系徳須恵川)



4. 水位の概要⑥-1 (筑後川水系城原川)

筑後川水系城原川の日出来橋水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、8月27日19時00分にピーク水位4.90mを記録しました。

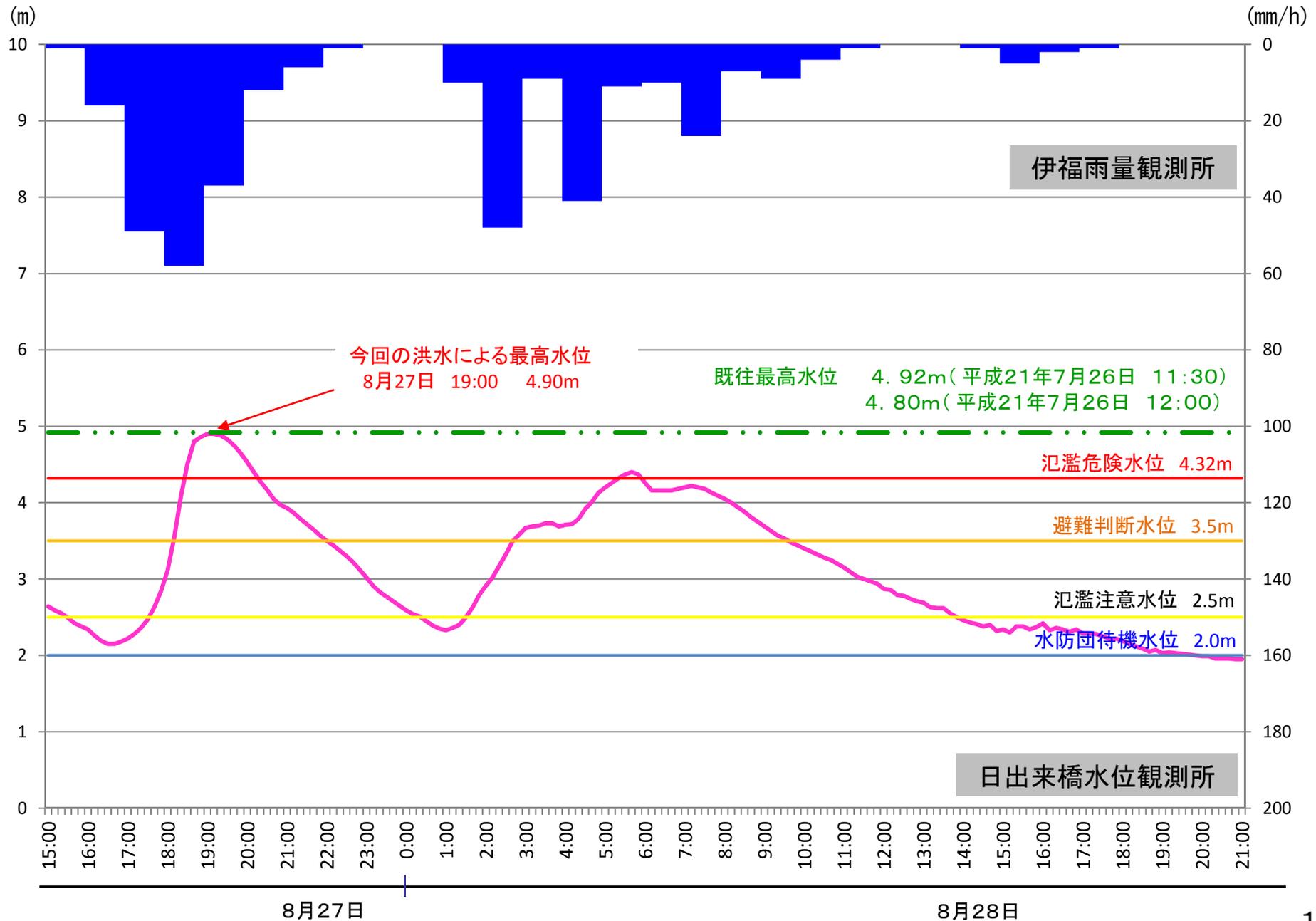
城原川(日出来橋水位観測所)の年最高水位比較図



※ : 本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

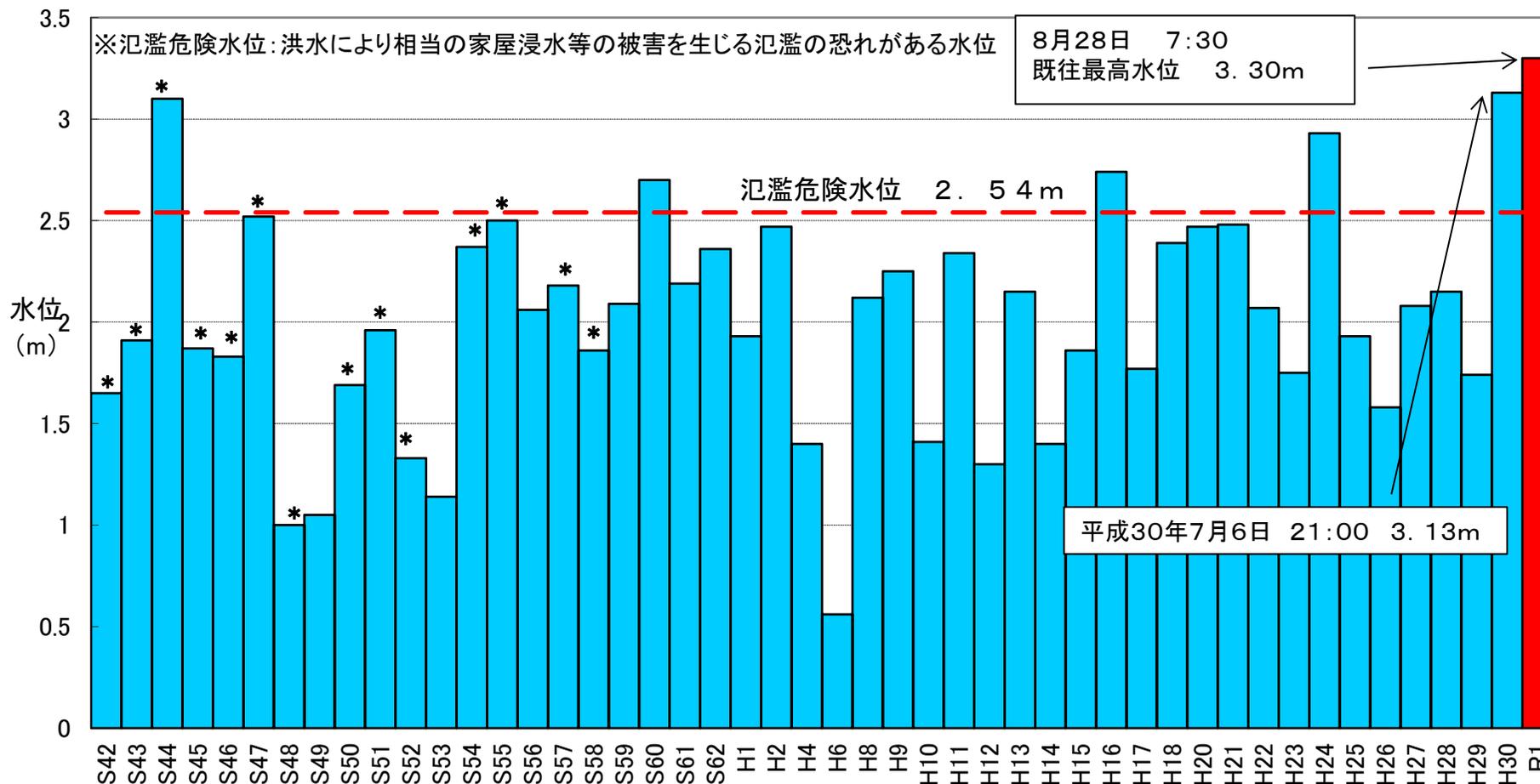
4. 水位の概要⑥-2(筑後川水系城原川)



4. 水位の概要⑦-1 (筑後川水系巨瀬川)

筑後川水系巨瀬川の中央橋水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、8月28日7時30分に既往最高のピーク水位3.30mを記録しました。

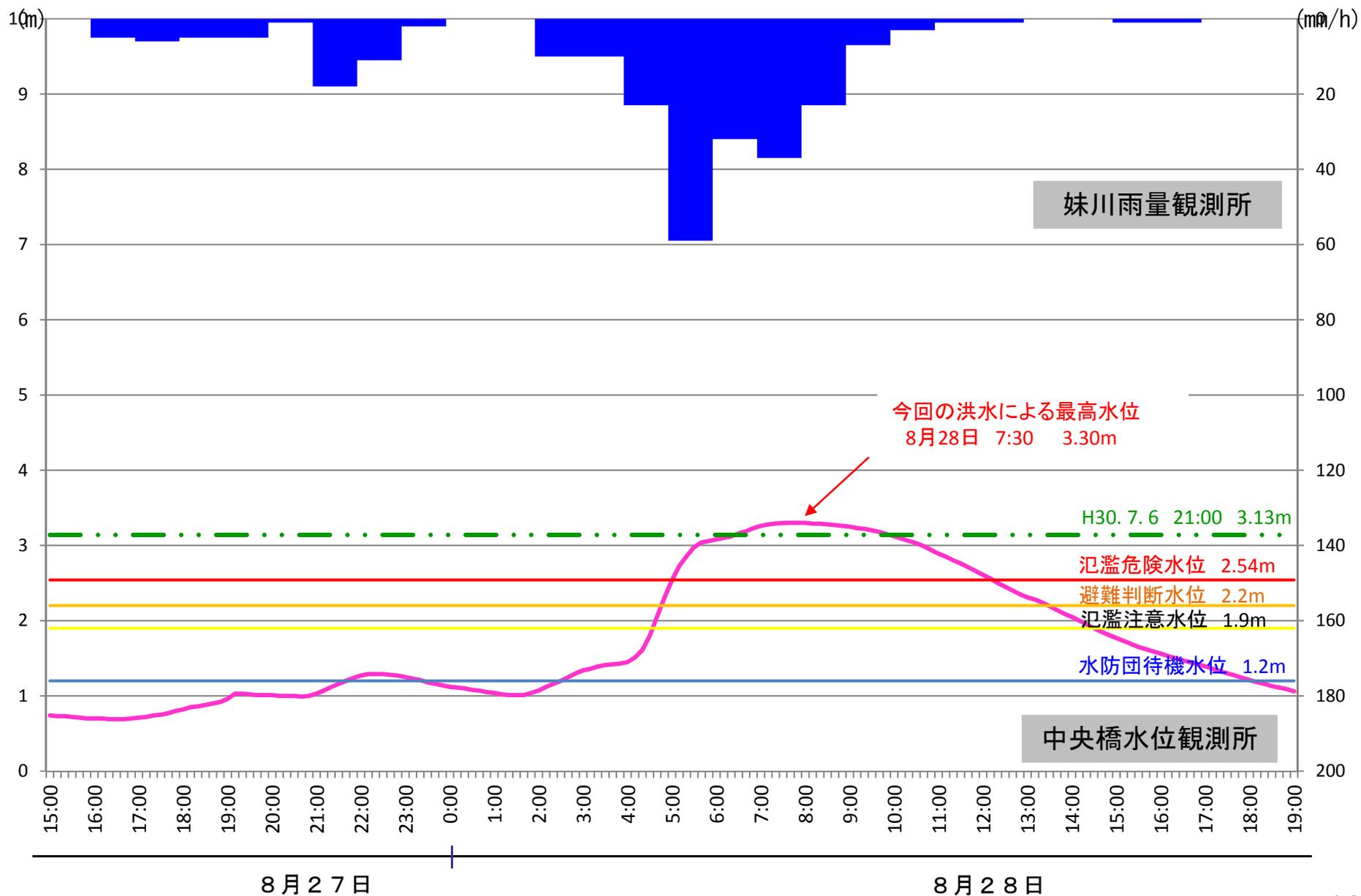
巨瀬川(中央橋水位観測所)の年最高水位比較図



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

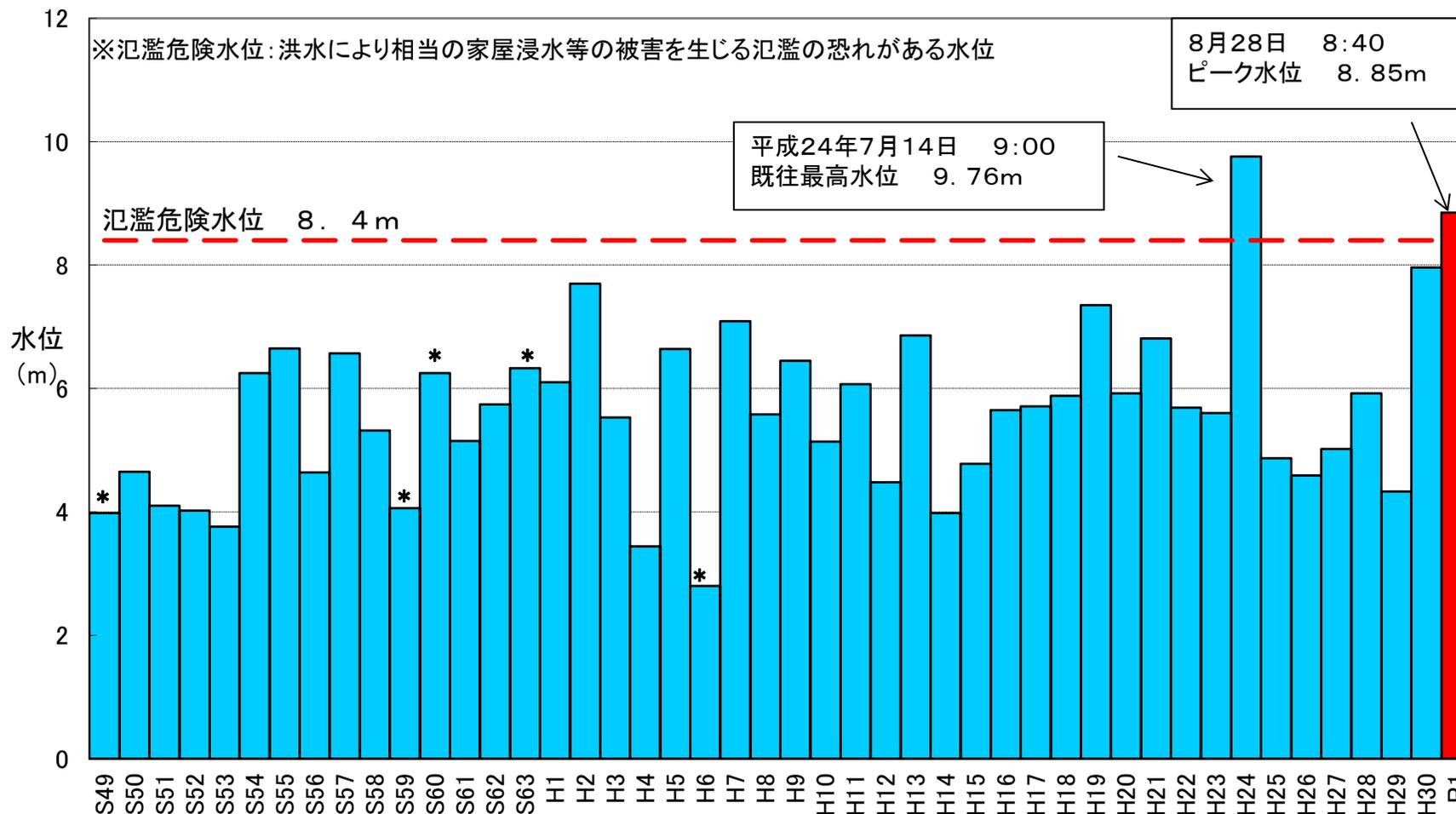
4. 水位の概要⑦-2(筑後川水系巨瀬川)



4. 水位の概要⑧-1 (矢部川水系矢部川)

矢部川水系矢部川の船小屋水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、8月28日8時40分にピーク水位8.85mを記録しました。

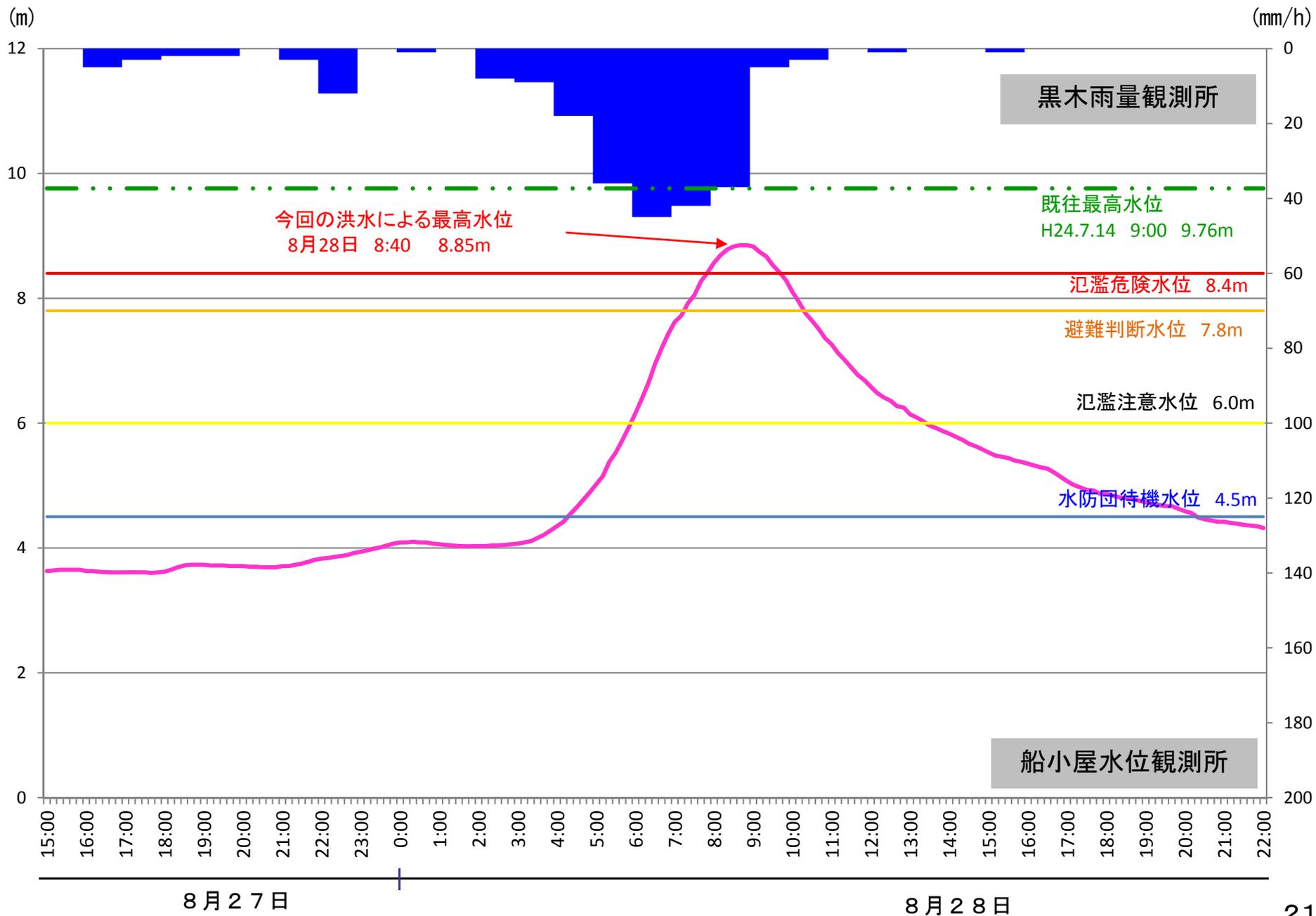
矢部川(船小屋水位観測所)の年最高水位比較図



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

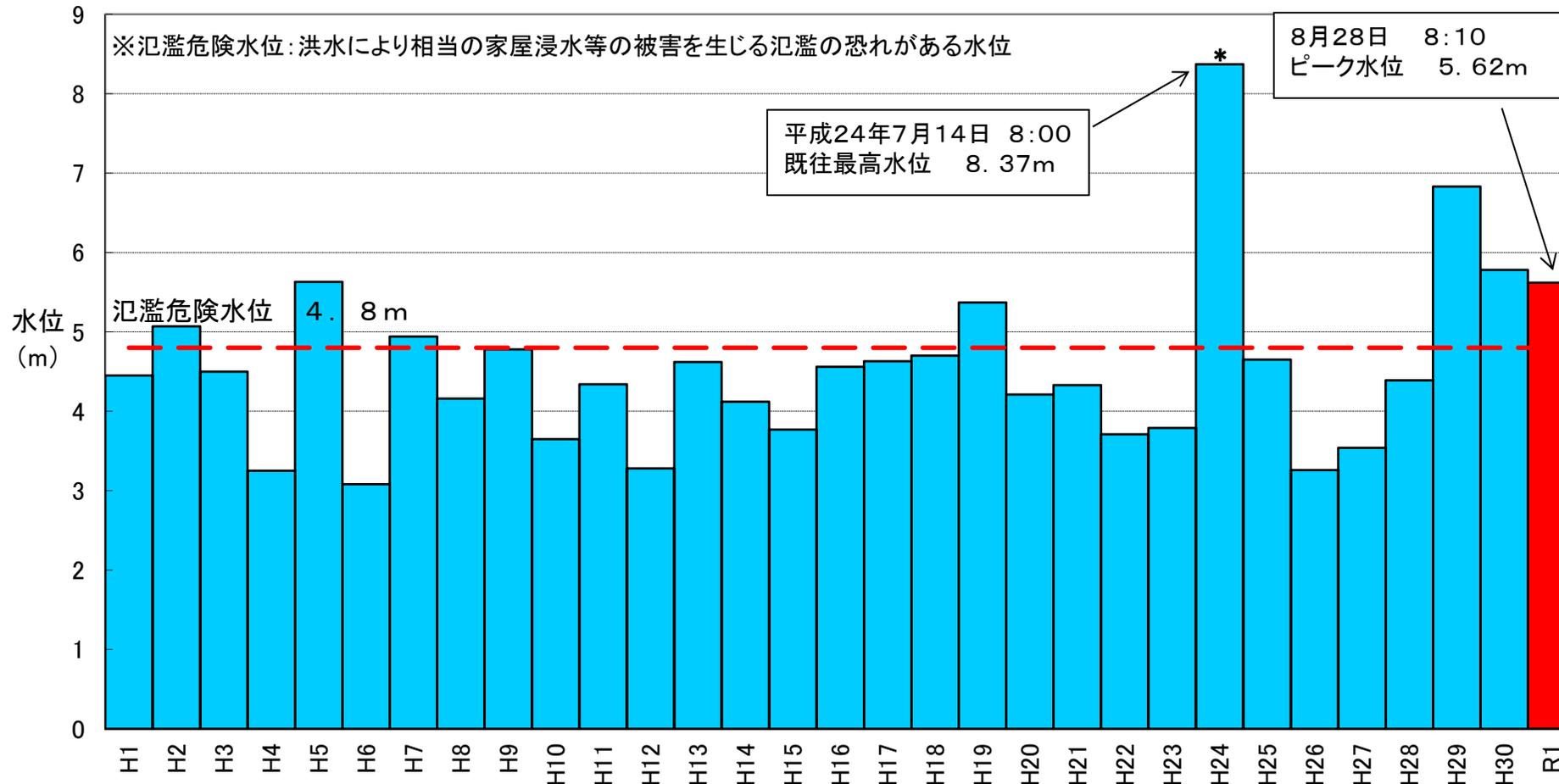
4. 水位の概要⑧-2(矢部川水系矢部川)



4. 水位の概要⑨-1 (山国川水系山国川)

山国川水系山国川の柿坂水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、8月28日8時10分にピーク水位5.62mを記録しました。

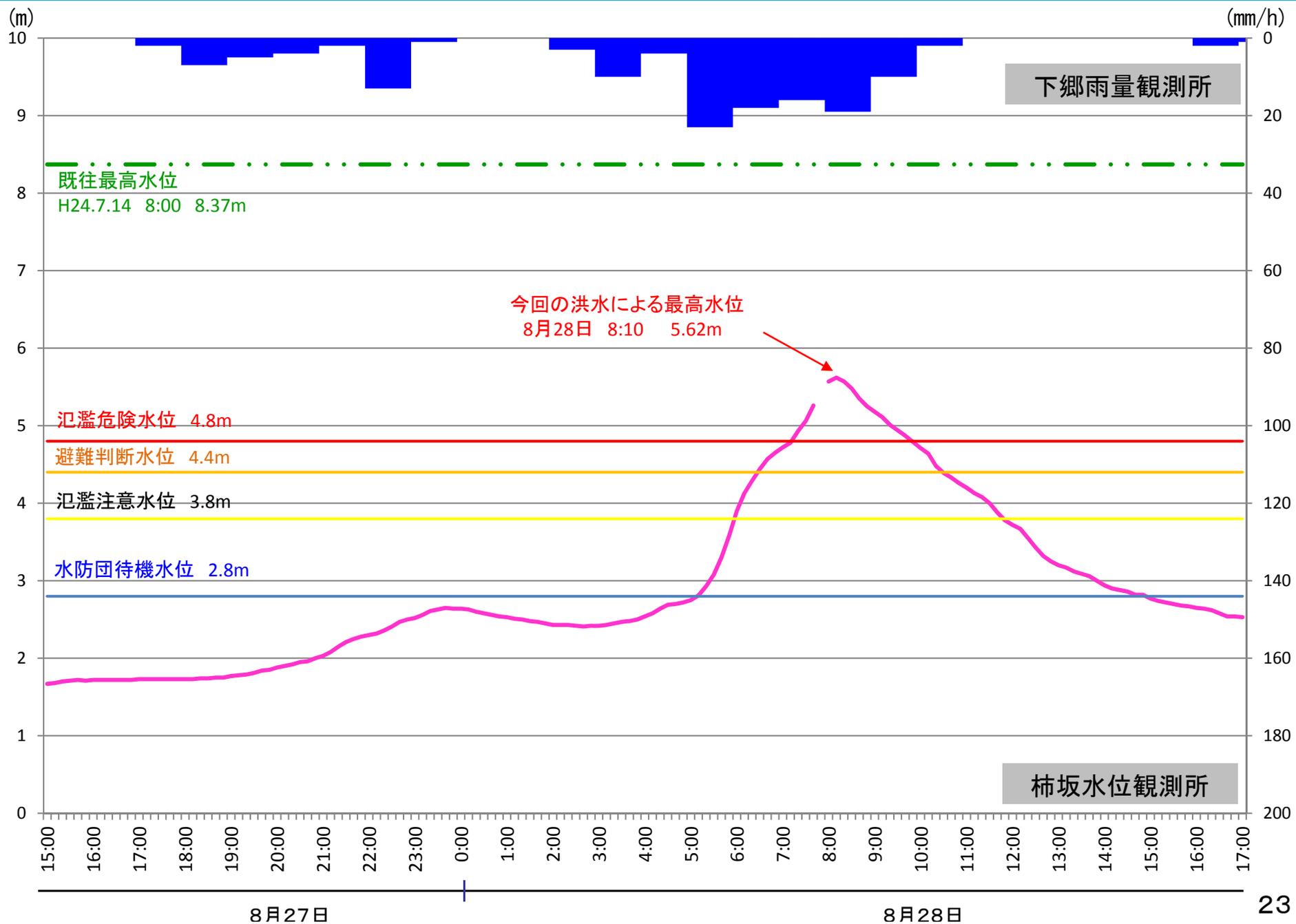
山国川(柿坂水位観測所)の年最高水位比較図



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

* : 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

4. 水位の概要⑨-2(山国川水系山国川)



5. 出水状況写真

【 六角川水系六角川 】



【 六角川水系牛津川 】



【 筑後川水系巨瀬川 】



【 筑後川水系城原川 】



5. 出水状況写真

【 松浦川水系松浦川 】

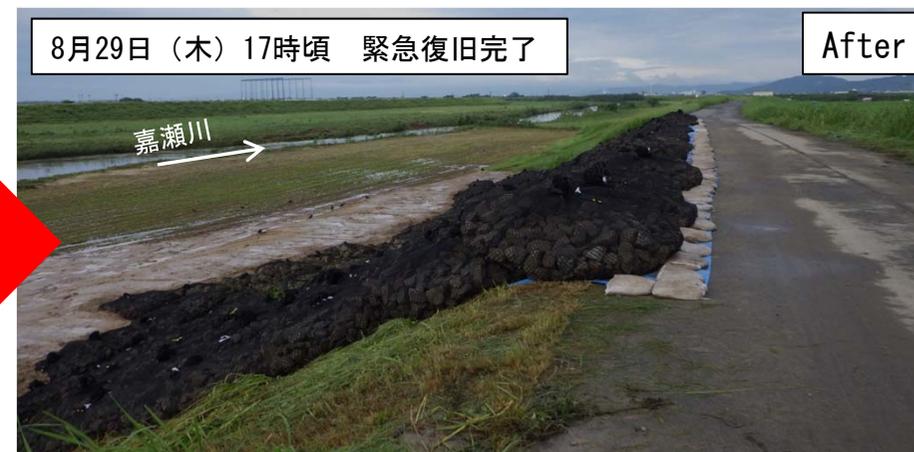
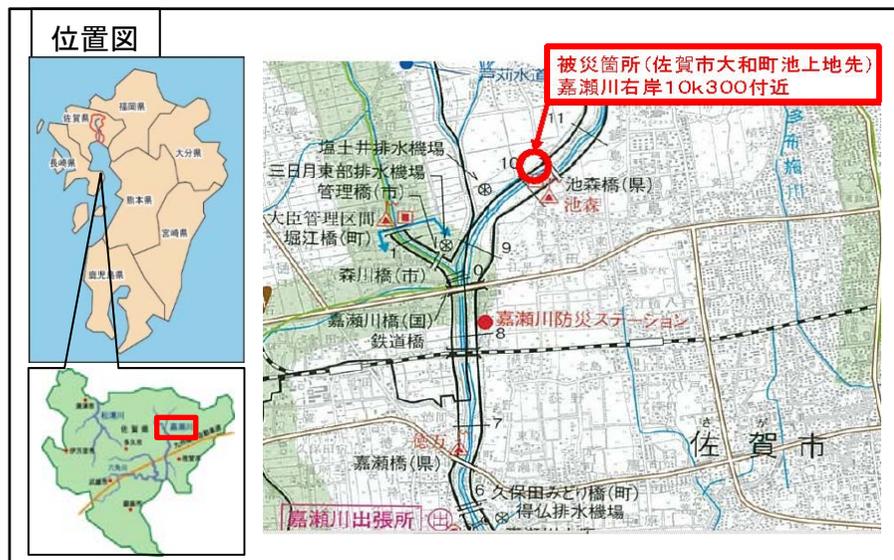


【 矢部川水系矢部川 】



7. 嘉瀬川における緊急復旧状況

- 嘉瀬川 右岸10k300付近（佐賀県佐賀市大和町池上地先）における堤防の被災について、
8月29日17時に緊急復旧を完了しました。
- 被災内容：天端亀裂（L=50m）、法面崩壊（L=15m）

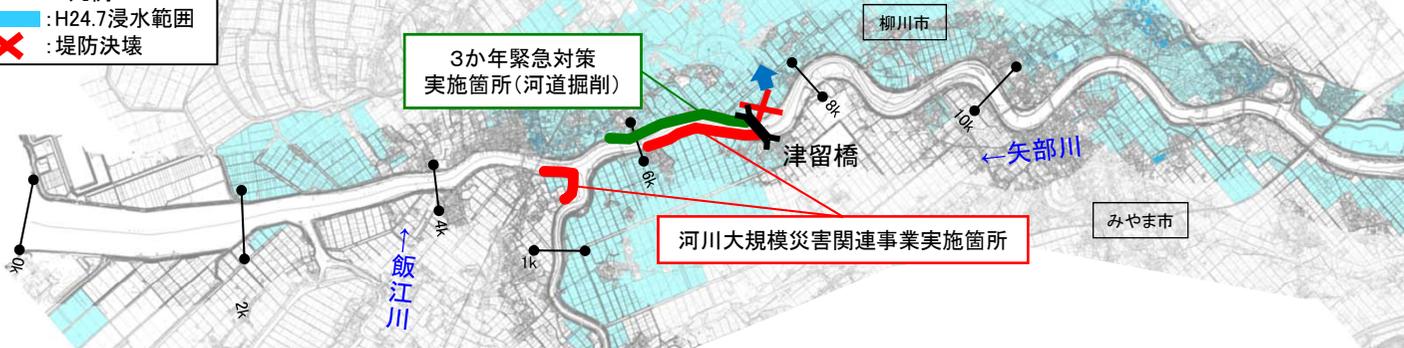
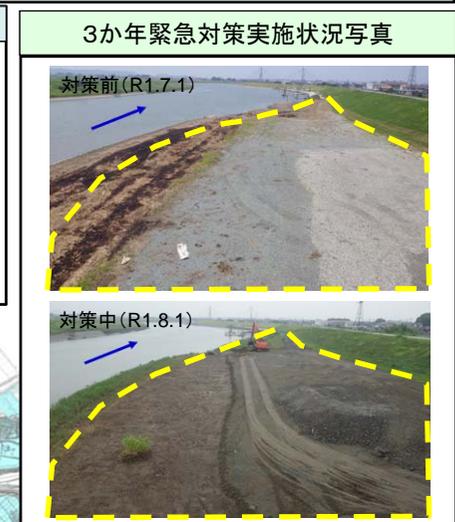
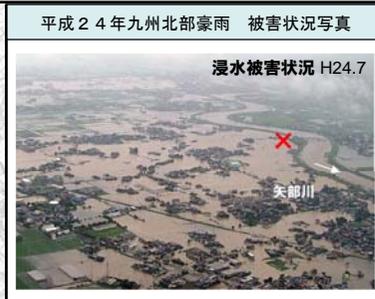
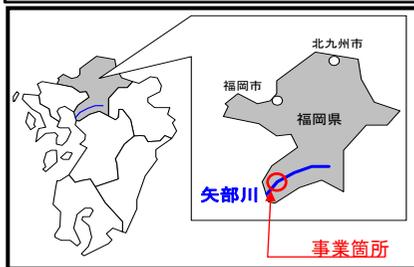


8. 治水事業の効果

【速報版】

河川大規模災害関連事業の実施により、矢部川の水位を大幅に低減

- 矢部川水系矢部川では、平成24年九州北部豪雨による洪水で堤防が決壊し、家屋浸水が発生するなど、甚大な被害が発生しました。
- 平成24年度より「河川激甚災害対策特別緊急事業」とあわせて、「河川大規模災害関連事業」として引堤や河道掘削等を実施し、平成29年度に完成しました。また、現在、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の一環として、河道掘削を実施しています。
- 上記の対策を実施したことにより、令和元年8月洪水では、津留橋地点で水位を約20cm低下させました。



【大規模災害関連事業の概要】

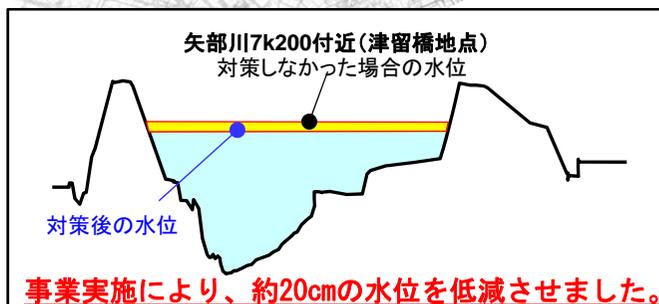
- 事業内容: 引堤、旧堤撤去 (掘削) 等
- 期間: 平成24年度～概ね5年間
- 全体事業費: 約23億円

対策イメージ



【河川激甚災害対策特別緊急事業の概要】

- 事業内容: 堤防質的強化等
- 期間: 平成24年度～概ね5年間
- 全体事業費: 約110億円

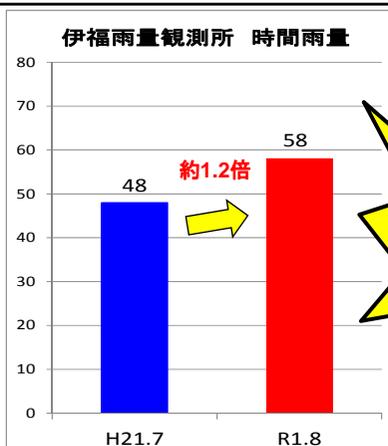


8. 治水事業の効果

【速報版】

ちくご じょうばる
筑後川水系城原川の堤防整備(強化)により、堤防等に大きな変状はなし

- 筑後川水系城原川では、平成21年7月洪水で床下浸水36戸の家屋浸水被害や堤防法面崩壊、堤防からの漏水が発生しました。
- 令和元年8月洪水では、上流の伊福雨量観測所において、平成21年7月洪水を約1.2倍上回る雨量等を観測しましたが、平成22年度より堤防強化対策を実施等により、今回洪水では大きな変状は見られず、堤防の機能が確保されました。



H21.7洪水を約1.2倍上回る降雨を記録

堤防強化実施状況(平成22年以降)

施工前



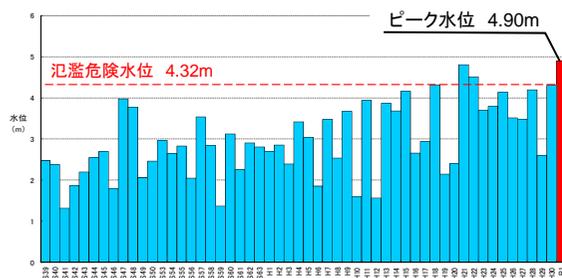
施工前(H28.7)

施工後



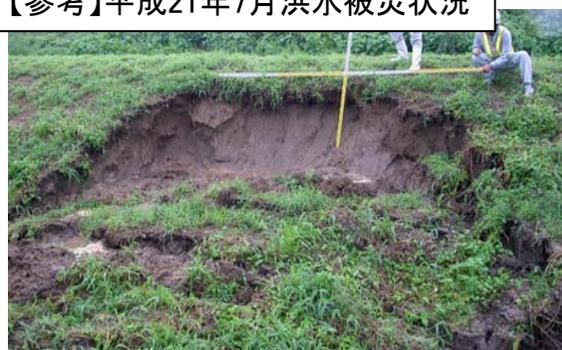
施工後(H29.3)

日出来橋水位観測所 既往最大水位比較



日出来橋水位観測所において、令和元年8月洪水では、平成21年度と同程度の水位を記録。

【参考】平成21年7月洪水被災状況



平成21年洪水 城原川左岸 6k400付近 堤防法面崩壊状況

家屋浸水状況: 床下36戸、農地被害237ha

※家屋浸水等の被害状況については、現在調査中。
※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査等で変わる可能性があります。

8. 治水事業の効果

まつうらがわ

きゅうらぎ

松浦川水系 厳木ダムの効果（令和元年8月27日出水）

- 秋雨前線に伴う豪雨により、厳木ダム上流域においては、525mm(8月26日1時～29日8時)の累加降雨を観測しました。
- 厳木ダムは、27日17時10分より防災操作を開始し、28日1時50分にはダムへの流入量が最大となる約144m³/秒に達し、ダムに64m³/秒を貯留しました。
- 厳木ダムが無かった場合、中島橋地点の水位が約0.60m上昇し、氾濫危険水位を超過(約30cm)したと推定され、厳木川の浸水被害軽減に寄与したと推定されます。

厳木ダム



下流から堤体を望む



◆厳木ダムの状況

約64m³/秒(=①-②)
少なくなって、流れていたと推測。

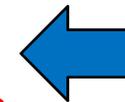
②下流の河川へ
流した水量
約80m³/秒
(8月28日1時50分時点)



厳木ダム

①厳木ダムへ流れてきた水量

144m³/秒 (8月28日1時50分時点)



洪水貯留後最高水位：200.99m
(8月28日7時40分時点)

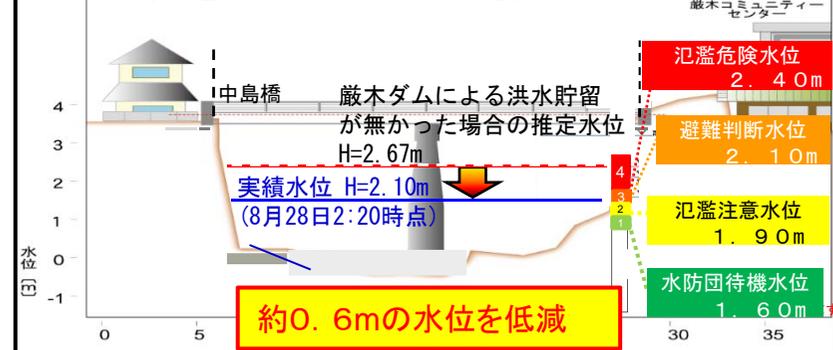
約2.4m上昇

洪水貯留前貯水位：198.55m
(8月27日17時10分時点)

約590千m³の水を貯め込んだ。
これは25mプールの約1,600杯分です。



中島橋地点での厳木ダム水位低減効果



※数値は速報値であるため今後変わる可能性があります。

8. 治水事業の効果

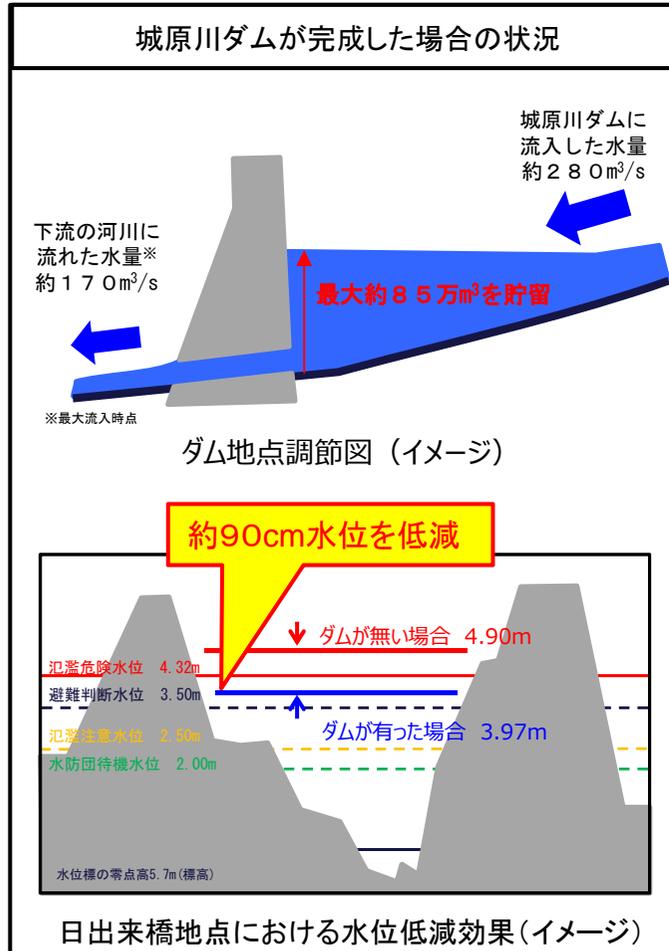
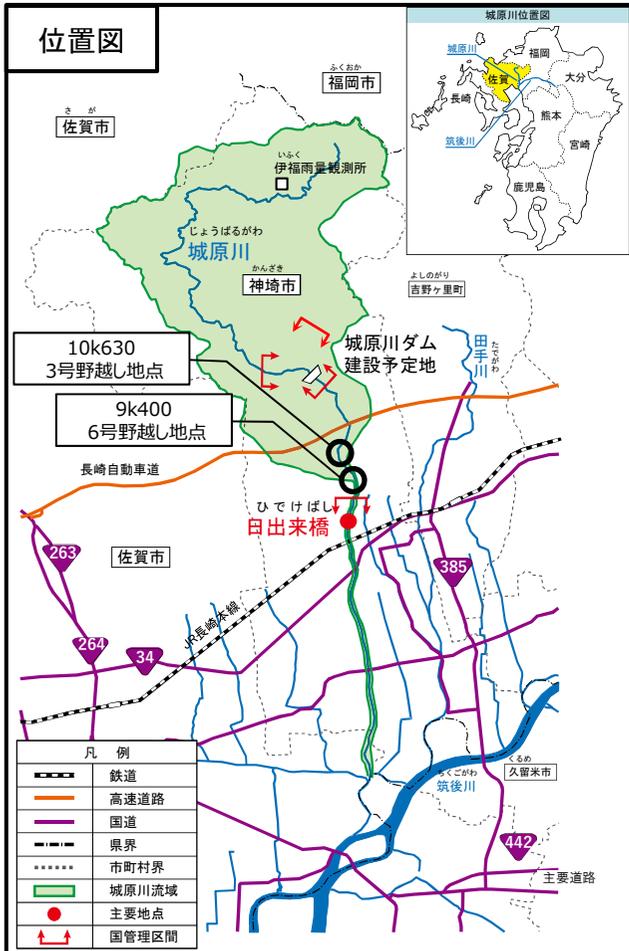
ちくご がわ しょうぼるがわ

筑後川水系城原川ダムに期待される効果(令和元年8月27日出水)

- 秋雨前線に伴う豪雨により、城原川ダム上流域においては、降り始めから約3日間の総雨量※1が542mmを記録し、8月一ヶ月間の平均降水量※2の約1.3倍に相当する大雨となりました。
- この豪雨により、神崎市街地の上流に位置する日出来橋地点では、氾濫危険水位を最大約60cm超過する洪水となりました。また、避難判断水位を約11時間にわたり超過しました。
- 現在、建設を進めている城原川ダムが完成していれば、最大約85万m³(25mプール約2,360杯分)の洪水を貯留し、日出来橋地点において約90cmの水位を低減し、氾濫危険水位を下回っていたと推定されます。
- また、越水した3号野越し地点においても、約70cmの水位を低減し、越水を防ぐことができたと推定されます。

※1 伊福雨量観測所(国)における8月25日16時~8月28日10時の累加雨量

※2 伊福雨量観測所(国)における平成21年~平成30年の平均値



日出来橋地点(8/27 18時40分頃)



6号野越し地点(8/27 19時00分頃)

※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。